



1987～1988年度

国際ロータリー第251地区

地 区 要 覧

1988・12・1

ガバナー 坂 本 忠

地区要覧の刊行に寄せて

この要覧は1987～1988年度における地区内奉任活動の実体を総集したものであります。毎月発行したガバナー月信を併せてご参照下されば更にご理解願えるものと存じます。

将来に備えて、地区における各年度の活動を夫々の年度毎に取り纏め、地区要覧として記録し、保存することは誠に有意義なことであります。このように地区のロータリー史を残すという重大な仕事であることを認識するとき、刊行を終えた只今、文字通り肩の荷がおりて、漸くガバナーの任務が終了したとの感を抱いております。

以上今後の地区ロータリーの発展を祈りつゝご挨拶と致します。

1987～1988年度国際ロータリー第251地区

ガバナー 坂 本 忠

地区要覧目次

1. 地区の現勢

(1)国際ロータリーのテーマ	1
(2)地区運営方針と重点目標	4
(3)地 区 組 織 図	5
(4)分区編成・分区代理・クラブ会長・幹事一覧表	7
(5)クラブ別会員数の推移	8
(6)クラブ別年間出席率一覧表	9
(7)新クラブの設立	11

2. 地区内行事

(1)地 区 大 会	12
(2)地 区 協 議 会	14
(3)クラブ会長エレクト研修セミナー	14
(4)地区情報セミナー	14
(5)ケラー R. I. 会長ご夫妻歓迎合同例会	15
(6)都市連合討論会（分區別 I. G. F.）	16
(7)公式訪問日程表	17

3. 地区委員会

(1)ガバナー諮問委員会	18
(2)ガバナー指名委員会	18
(3)分区代理会議	18
(4)地区委員長会議	18
(5)情報資料室	19
(6)国際共同委員会	19
(7)青少年交換委員会	20
(8)世界社会奉仕委員会	23
(9)インターアクト委員会	23
(10)ローターアクト委員会	24
(11)広 報 委 員 会	25
(12)拡 大 委 員 会	25
(13)会員増強委員会	26
(14)ロータリー財団委員会	29
(15)財団奨学生・学友委員会	29
(16)G S E 委 員 会	30
(17)ポリオ・プラス委員会	30
(18)米山記念奨学会委員会	31

4. 青少年奉仕

(1)青少年指導者育成研修セミナー	32
(2)インターアクト	33
(3)ローターアクト	34

5. 国際奉仕

(1)地区内クラブの海外姉妹提携状況	36
--------------------------	----

(2)海外地区との姉妹提携状況	36
(3)青少年交換学生	37
(4)災 害 見 舞	38

6. ロータリー財団

(1)財団への年間寄付一覧表	39
(2)ポリオ・プラス寄付一覧表	40
(3)マルティプル・フェロー（スター・フェロー）	41
(4)ポール・ハリス・フェロー	41
(5)ポール・ハリス・準フェロー（新）	43
(6)メモリアル・コントリビューター	45
(7)ロータリー財団寄付（ロータリアン以外）	45
(8)ポリオ・プラス個人寄付（フェロー以外）	45
(9)ポリオ・プラス個人寄付（ロータリアン以外）	45
(10)ポリオ・プラス協力法人	46
(11)ロータリー財団奨学生	48
(12)ロータリーレートの変更	49

7. 米山記念奨学会

(1)米山記念奨学会寄付金納入明細表	50
(2)米 山 奨 学 生	51
(3)米 山 功 勞 者	52
(4)米山特別功労法人	52
(5)理事・評議員	52

8. 情報資料室

(1)備え付け貸し出し資料	53
---------------------	----

9. 地区資金収支決算書

(1)一般地区資金	58
(2)特別地区資金	59
(3)監 査 報 告	59

10. そ の 他

(1)地区外公式行事	60
(2)海外地区及び各クラブからの来信	61
(3)地区内各月実施行事内容	62
(4)記念式典開催状況	65
(5)物 故 会 員	66
(6)表 彰	68
(7)「ガバナー月信」各号の主な内容	74
(8)地区刊行物について	76
(9)そ の 他	76
(10)ガバナー事務所	77

1. 地区の現勢

(1)国際ロータリーのテーマ

ロータリアンの皆さん：

私達は、ロータリアンとしても世界市民としても、特別な時代、激動の時代に生きています。世界全体が私達の地域社会であります。ですから、私達は、すべての人々に奉仕し、平和を求め、さらに、地球というわが家のあらゆる地域、あらゆる年齢層の人々に安寧をもたらすよう、格別の努力と行動に邁進すべきときに直面しているわけです。

また、私達は期待のもてる時代に生きています——というのは、私達がロータリアン——奉仕に結束し、平和に献身する人だからです。あなたも私もロータリアンになったとき、私達は同僚ロータリアンと契約を結んだのです。私達ロータリアンは、共に、奉仕と平和に献身すると誓約しました。その根源をたどると、ひとりひとりの心の資質とロータリー・クラブという友情に結ばれた特異な共同社会に行き着きます。

本ロータリー年度、1987-88年度は、ポリオ・プラスという非常に大きな課題に挑戦する特別な年であります。私達全員にとって、これに応えるには強力な財政的努力が必要となります。さらに、恐るべき災厄、ポリオから世界の児童を守るためにロータリアンの個人参加が要請されます。ロータリアン個人個人が進んで参加する——これぞロータリーの最高のときなのです。

本年度の私達の格別の努力を実りあるものとするために、時代の至上命令は世界平和であります。平和探求への私達の特別の献身は、疑念を友好に換え、苦難を奉仕で和らげるような人間対人間の努力であります。愛とは単に憎しみをもたないということだけでないように、平和とは戦争がないということだけで

はないことを私達は知りました。

ロータリアン個人としても、クラブにおいても、私達は盛り沢山のプログラムや活動に多忙であります。ですから、私は、本年度、新プログラムを発表しませんでした。これは、ロータリーの静止を意味するものではありません。奉仕の四大部門のあらゆる活動またはプログラムを強化するよう、私達の努力をこの分野に向けることになります。会員増強、ロータリー情報のより一層の徹底、よりよい広報、職業奉仕への配慮、世界社会奉仕のより一層の拡大……なすべきことは沢山あります。

私達は友愛と奉仕によって平和を追求するに当たり、多様性の世界にあってロータリーの実践方法が一樣でないことを認識しています。従って、私達は、ロータリアンを一つにつなぐ結束——「超我の奉仕」という理想への献身——を守り育てなければなりません。

されば、本年こそ格段の努力を払って、私達が奉仕に結束し、平和に献身するロータリアンであることを世界に示そうではありませんか。

敬具

チャールズ C. ケラー

1987-88年度国際ロータリー会長

(米国ペンシルベニア州、カリフォルニアR. C.)

ロータリー—

奉仕に結束—平和に献身

次のことを通じて、奉仕と平和の理想に改めて献身しましょう。

- **クラブ奉仕。** ロータリー自体は何もできませんが、ロータリアンはどのようなことでも成し遂げることができます。1人のロータリアンで何ができるのでしょうか？ あなたのクラブを強化できます！

—クラブの任務を承諾し、進んで参加すること。

—単なる傍観者でなく、クラブ・プロジェクトに自ら加わること。

—所属クラブの会合のほかにはロータリーの諸会合に出席すること。

—ビジターを歓迎し、新会員のスポンサーとなること。

—R.I.出版物に精通すること；ロータリー知識はロータリーの力です。

—あなたのクラブの会員の退会防止に協力すること。

—あなたのクラブが、そして、世界各地でロータリーが何をしているか、あなたの地域社会に語ること。

- **職業奉仕。** 職業奉仕に新しい息吹を注ぐときです。この部門に特に注意を払って下さい。職業奉仕に、新しい、そして、多分より機能的な意味を与えるよう努めて下さい。私達の実業および専門職業に高度の倫理的水準と四つのテストを新たに確立したうえ、地域社会のさまざまな職業分野に奉仕しましょう。

—国際職業交流グループに参加すること。

—青少年、失業者、定年間近な人のために職業情報・指導セミナーや会合を開催すること。

—職場で教育プロジェクトを実施すること。

—職場で薬物濫用防止プロジェクトを実施すること。

—職業奉仕の新プロジェクトを発足させること。

—ローターアクトとインターアクトの斬新なプログラムによって失業や不完全就業の問題に取り組むこと。

- **社会奉仕。** あなたのクラブが、援助を必要としている地域社会の人々に対して、つまり、病める人や障害のある人、若い人や高齢の人、飢えた人や孤独な人、その他絶望した人々に対して、何をしているか、ロータリーの話を物語るのにこれ以上のことはありません。ロータリアンが何をしているか、人々に知らせなければなりません。
- あなたの地域社会のニーズを調査し、それから行動すること。

—18-28歳の年齢層の青年に関心を向け、ローターアクト・クラブを提唱、支援すること。

—地域社会の教育プロジェクトを支援すること。

—地域社会で薬物濫用防止プロジェクトを実施すること。

—インターアクト・クラブを提唱、支援すること。

—ロータリー村落共同隊を提唱、支援すること。

—社会奉仕の新プロジェクトを発足させること。

—あなたのクラブが単独では遂行できないような大きなニーズに対処するために他団体と協力すること。

- **国際奉仕。** ロータリーは、発展、前進するにつれ、世界社会奉仕プログラム、ロータリー財団プログラム、ますます発展する

交換プログラム（青少年交換、ロータリー友情交換、世界親睦活動および国際職業交流グループ等）、その他多くの国際奉仕および援助プロジェクトを通じて、時には他と協力しながら、国際奉仕の分野で数々の新しい冒険に挑んできました。私達が、自分達の平和追求を最もありありと証言できるのはこの奉仕部門であります。

—ロータリー財団のプログラムと活動に参加すること。

—ポリオ・プラス・プロジェクトに参加すること。

—あなたのクラブから遠く離れた地域の人々に、あなたのクラブから奉仕の手を差し伸べる手段として、世界社会奉仕と現物抛出情報交換プログラムを利用すること。

—米国ペンシルベニア州フィラデルフィアの1988年R.I.国際大会でアイディア交換に参加すること。

—ロータリーの交換プログラムのどれかに参加すること。すなわち、青少年交換、ロータリー友情交換、世界親睦活動、国際職業交流グループ等。

—国際奉仕の新プロジェクトを発足させること。

(2)地区運営方針と重点目標

ガバナー 坂本 忠

1987～88年度R.I.会長チャールズC.ケラー氏は会長就任を前にしてノミニー時代に、世界の17ヶ所で開催された、地域ゾーン研究会の中の11ヶ所に出席され（昨年12月6日東京の研究会に御出席なされました）各地域のロータリーの指導者の意見や助言を求め、此の変動する特別の時代に対応する、ロータリーの進路について、多くの直面している課題を分析研究されて、重要な挑戦すべき幾つかの課題に焦点を当て、来るべき年度の方針として、例えばポリオ・プラス計画、女性の入会問題に関して起きた外部からの圧力、情報伝達、内部及び外部拡大、四大奉仕部門のバランス、青少年活動、分裂危機に対する結束、平和のために尽力するという様な課題を、2月の国際協議会に於て我々がガバナー・ノミニーに示されました。又、R.I.に示されました。又、R.I.に世界平和と理解センターの創設を考えていることも述べられました。

又、ケラー会長は次年度こそ格段の努力を払って私達が奉仕に結束し、平和に献身するロータリアンであることを世界に示すことを期して、

ロータリアン—奉仕に結束—平和に献身

ROTARIANS—UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE という87～88年度R.I.のテーマを提唱されました。

地区ガバナーは地区内クラブを管理するR.I.会長の方針に従って、地区内クラブの活動を指導し、支援する任務を課せられております。

私はケラー会長の方針に沿って、次年度の地区運営の方針を建て、その中の重点目標を次のようにしたいと考えます。

地区内ロータリアンは友愛と思いやりの精神を以て、楽しい例会、楽しい奉仕活動をするることにより、次の様な課題に挑戦して頂き度いと思います。

- (1)ポリオ・プラス募金に全面的に協力すること。
- (2)情報の伝達及び広報に努めること。

次年度より地区組織の中に、情報コーディネーターが置かれることになり、三浦バスターガバナーが当られる。

- (3)内部及外部への拡大。

新クラブ設立についてはモーニングクラブ等も考えております。

- (4)職業奉仕部門の強化。

- (5)青少年活動の推進。（これは未来への投資であります）

- (6)ロータリー財団への支援。（ポリオ、交換学生、奨学生等国際奉仕、国際理解等に連なる）

また職務管理の方針として国際ロータリー定款細則に決められている分区代理の制度を活用し、分区代理をお願いした方々に、次年度は特段の御協力をお願いし、分区内クラブと地区ガバナーの連絡を密にして頂くと共に、地区の会員増強、分区内クラブのプログラムや諸活動の活性化を推進して頂きたいと考えております。

ロータリーは「行動の理想」と呼ばれてきました。ロータリーは恕の心、寛容の習慣があります。

ケラー会長は疑念には友好で応え苦難は奉仕で和らげることができます、何ものにも優先する平和を心の目の中に位置づけて下さい、と講演をしめくりました。

会長はじめ皆様方の奉仕に結束—平和に献身に率先取組まれますよう祈念して止みません。

(3)1987～88年度国際ロータリー第251地区組織図

クラブ会長エレクト研修セミナー		地区ガバナー	
地区協議会		坂本 忠 (札幌)	
地区大会			
分 区 代 理	ガバナー諮問委員会 (P. G. & G. N.)	ガバナー指名委員会 (P. G. & G. N.)	地区情報 コーディネーター
	塩谷 猛 森松 定男 伊藤 義郎 富田 嘉市 太宰 六郎 小川 忠一 佐久間 三一 竹山 涼一 河邨 文一郎 望月 武義 三浦 祐晶 大槻 橋次一	◎三浦 祐晶 滝本 庄蔵 塩谷 猛 森松 定男 伊藤 義郎 富田 嘉市 太宰 六郎 小川 忠一 佐久間 三一 竹山 涼一 河邨 文一郎 望月 武義 大槻 橋次一	三浦 祐晶 (P. G.)
地区カウンセラー及			
クラブ奉仕	国際奉仕	青少年奉仕	広 報
カウンセラー 佐久間三八 (P. G.)	カウンセラー 塩谷 猛 (P. G.)	(インターアクト委員会) ◎岩崎 鉄男 (札幌東) 秋山 孝二 (札幌) 田中 公 (札幌東) 遠藤 廣雄 (室蘭東) 松浦 百秋 (函館五稜郭)	◎富原 薫 (札幌) 伊坂 重孝 (札幌) 村上 達彌 (札幌) 野平 昌人 (札幌) 一戸 豊信 (室蘭東)
	(国際共同委員会) ◎河邨 文一郎 (P. G.)	(ローターアクト委員会) ◎宮澤 正 (札幌北) 杉村 修 (深川) 小林 弘明 (岩見沢) 神代 利臣 (札幌幌南) 篠崎 俊雄 (岩内) 森 秀樹 (函館北)	
職業奉仕	(青少年交換委員会) ◎洪 悦郎 (札幌北) 佐藤 章 (札幌北) 三成 脩 (札幌西) 渋谷 雄也 (札幌西) 岩瀬 一郎 (札幌手稲) 大坂 忠 (札幌手稲) 青木 功喜 (札幌東) 岩城 秀晴 (札幌南) 松本 修 (函館北)		
カウンセラー 竹山 涼一 (P. G.)			
社会奉仕	(世界社会奉仕委員会) ◎戸部 謙一 (札幌西) 佐々木敏雄 (札幌) 穂 莉 金 吾 (札幌西) 指 川 健 (札幌真駒内)		
カウンセラー 小川 忠一 (P. G.)			

--

国際ロータリー理事

伊 藤 義 郎 (P. G.)

日本ポリオ・プラス委員会

委員及びトレジャー
望月 武義 (P. G.)

委 員
三浦 祐晶 (P. G.)

ロータリーの友委員会

委 員
岡崎 純 (札幌西)

米 山 記 念 奨 学 金

理 事
森松 定男 (P. G.)

地区資金委員会	地区幹事・会計	地 区 大 会
◎林 饒 (札幌) 加藤 高正 (札幌北) 福山 達彦 (札幌東)	幹 事 越山文哉 (札幌) 副幹事 浅野国夫 (札幌) " 半澤道郎 (札幌) " 松村 亮一 (札幌) " 横井 久 (札幌) " 木村 文教 (札幌東) 会 計 井後幸太郎 (札幌)	委員長 佐藤 貢 (札幌) 副委員長 久郷昌夫 (札幌) " 森鼻武芳 (札幌) 幹 事 越山 司 (札幌) S.A.A. 小野純清 (札幌) 会 計 大橋恒雄 (札幌)

地区情報資料室

◎浅野 国夫 (札幌)
林 英夫 (札幌)
長山 康雄 (札幌北)

び 地 区 諮 問 委 員 会

拡 大	会 員 増 強	ロ ー タ リ ー 財 団	米山記念奨学会
カウンセラー 河 邨 文一郎 (P. G.) 望 月 武 義 (P. G.) 三 浦 祐 晶 (P. G.)		◎塩 谷 猛 (P. G.) 藤 林 幸 廣 (札幌西北) 光 銭 吉 郎 (函館 東)	カウンセラー 森松 定男 (P. G.)
(拡 大 委 員 会) ◎河邨文一郎 (P. G.) 望月武義 (P. G.) 三浦祐晶 (P. G.)	(会 員 増 強 委 員 会) ◎橋本利弘 (札幌東) 中村 宏 (羽 幌) 相馬 寛 (赤 平) 岡田泰紀 (当 別) 武藤健蔵 (札幌西北) 木村利彦 (札幌南) 富樫英治 (小樽南) 坂田義和 (北広島) 工藤 正 (様 似) 三浦昭三 (洞爺湖) 田中修市 (函 館) 棚田 清 (江 差)	(財団奨学生・学友委員会) ◎伊藤千秋 (札幌西) 村山 正 (札幌) 金岡祐一 (札幌北) 長谷井真信 (札幌西) (G. S. E. 委員会) ◎小林 博 (札幌北) 上井鉄造 (札幌西)	(ポリオ・プラス委員会) ◎今井道雄 (札幌) 森鼻武芳 (札幌) 西條正博 (札幌) 佐藤 貢 (札幌) 武井正直 (札幌) 東条猛猪 (札幌) 四ノ柳高茂 (札幌) 斎藤宗男 (札幌西北) 早崎弘晃 (札幌東) 富田 實 (札幌南) 小山内信一 (札幌南)
			◎田畑 武夫 (札幌南) 瓜 健夫 (砂 川) 土谷茂樹 (江 別) 斎藤久名 (札幌西) 藤井 清 (札幌東)

(4) 分区編成・分区代理・クラブ会長・幹事一覧表

分区	分区代理	クラブ名	会 長	幹 事	分区	分区代理	クラブ名	会 長	幹 事
1	中村 宏 (羽 幌)	深 川	後藤田隆雄	宇野利一	6	富樫英治 (小樽南)	蘭 越	堀川強太郎	明上山寿朗
		羽 幌	石野勇美	成沢卓爾			余 市	古川 勇	近藤徹哉
		妹背牛	藤原康男	高橋靖了			千 歳	武石忠俊	山田睦雄
		小 平	谷沢三由	木下昭一			恵 庭	三上寺吉	横道 勇
		留 萌	川合正修	深瀬晏男			北 広 島	村本三郎	田嶋 稔
2	相馬 寛 (赤 平)	赤 平	神山寛郎	竹島緋出雄	7	坂田義和 (北広島)		宮崎 真	
		芦 別	小西修身	日下部克己			白 老	伊東 稔	大道 実
		砂 川	山沢芳夫	杉浦孝之			苫小牧	高松 諄	川田憲秀
		滝 川	熊木博一	菅原剛太郎			苫小牧北	門脇 清	山口武雄
3	岡田泰紀 (当 別)	美 唄	中込 茂	東野 碧	8	工藤 正 (様 似)	えりも	田下道康	真田由雄
		江 別	西 照夫	八島壮之				木林龍夫	
		岩見沢	武蔵信一	岡山 一			三 石	亀田 淨	池田 実
		岩見沢東	西原宗幸	宮本廣次			様 似	本郷栄一	下村昭一
		栗 沢	川西重彦	河村正美			静 内	細川好弘	小坂政成
		栗 山	塩見悦次	松下留男			浦 河	網谷敏夫	斉藤末雄
		当 別	千葉一男	大畑博行			伊 達	和歌宏允	雲津忠宣
4	武藤健蔵 (札幌西北)	札 幌	西條正博	中山博道	9	三浦昭三 (洞爺湖)	室 蘭	西村昭男	佐藤房吉
		札幌北	谷口良一	岩崎輝明			室 蘭 東	一戸豊信	下国精一
		札幌モリタ	近藤良一	堀居信次			室 蘭 北	田中伸幸	柴田 忠
		札幌西	伏木忠了	矢橋温郎			登 別	村上忠雄	成田幸久
		札幌西北	多米 豊	小西啓義			洞 爺 湖	斎藤武司	川上大良
		札幌手稲	鈴木義雄	犬飼好清			函 館	中島敏幸	石田 勉
5	木村利彦 (札幌幌南)	札幌東	高野 博	坂東宗一	10	田中修市 (函 館)	函館亀田	坂本幸市	板倉啓信
		札幌幌南	岩本 貢	高島英寿			森	川村伊佐男	田村 貞雄
		札幌真駒内	里見健次	戸田実津男				谷 義一	
		札幌南	高谷 俊	杉澤達史			七 飯	佐藤孝男	佐藤百樹
		新 札幌	中野武文	二津忠義			長 万 部	佐藤一雄	井田知巳
6	富樫英治 (小樽南)	岩 内	佐藤信義	東山洋徹	11	棚田 清 (江 差)	江 差	田村 巖	田村 智
		倶知安	中野隆司	石本達雄			函館五稜郭	青田秋彦	貞森 晃
		小 樽	清水探四郎	青木真一郎			函 館 東	宮崎徳三郎	菅原憲夫
		小樽南	駒木 喬	成瀬桜男			函 館 北	川村邦雄	斉藤紀一
		小樽銭函	江刺家俊輔	久末誓司郎			松 前	木村豊一	山田武志

注：北広島・えりも・森の各RCで会長の変更があった。

(5)クラブ別会員数の推移

分 区	ク ラ ブ 名	会 員 数			分 区	ク ラ ブ 名	会 員 数		
		期 首	期 末	増 減			期 首	期 末	増 減
第 一 分 区	深 川	70	66	- 4		蘭 越	23	23	0
	羽 幌	43	46	+ 3		余 市	46	45	- 1
	妹 背 牛	18	17	- 1		分 区 小 計	371	370	- 1
	小 平	10	9	- 1		千 歳	100	115	+15
	留 萌	112	116	+ 4		第 七 分 区	45	50	+ 5
分 区 小 計		253	254	+ 1		北 広 島	22	25	+ 3
第 二 分 区	赤 平	48	49	+ 1		白 老	28	30	+ 2
	芦 別	54	53	- 1		苦 小 牧	80	82	+ 2
	砂 川	64	66	+ 2		苦 小 牧 北	70	67	- 3
	滝 川	90	89	- 1		分 区 小 計	345	369	+24
	分 区 小 計	256	257	+ 1	第 八 分 区	え り も	23	21	- 2
第 三 分 区	美 唄	46	48	+ 2		三 石	21	20	- 1
	江 別	79	87	+ 8		様 似	37	38	+ 1
	岩 見 沢	86	94	+ 8		静 内	57	66	+ 9
	岩 見 沢 東	37	40	+ 3		浦 河	47	45	- 2
	栗 沢	47	50	+ 3		分 区 小 計	185	190	+ 5
第 四 分 区	栗 山	53	53	0	第 九 分 区	伊 達	63	64	+ 1
	当 別	37	39	+ 2		室 蘭	102	103	+ 1
	分 区 小 計	385	411	+26		室 蘭 東	63	60	- 3
	札 幌	157	154	- 3		室 蘭 北	61	57	- 4
	札 幌 北	100	98	- 2	第 十 分 区	登 別	48	48	0
第 五 分 区	札幌モーニング	—	31	+31		洞 爺 湖	16	14	- 2
	札 幌 西	138	135	- 3		分 区 小 計	353	346	- 7
	札 幌 西 北	53	53	0		函 館	119	125	+ 6
	札 幌 手 稲	70	79	+ 9		函 館 亀 田	49	44	- 5
	分 区 小 計	518	550	+32		森	32	32	0
第 六 分 区	札 幌 東	141	142	+ 1	第 十 一 分 区	七 飯	32	32	0
	札 幌 幌 南	99	103	+ 4		長 万 部	22	22	0
	札幌真駒内	53	58	+ 5		分 区 小 計	254	255	+ 1
	札 幌 南	137	137	0		江 差	31	31	0
	新 札 幌	43	45	+ 2		函 館 五 稜 郭	59	58	- 1
第 六 分 区	分 区 小 計	473	485	+12	第 十 一 分 区	函 館 東	68	74	+ 6
	岩 内	54	53	- 1		函 館 北	62	58	- 4
	俱 知 安	42	40	- 2		松 前	12	13	+ 1
	小 樽	108	104	- 4		分 区 小 計	232	234	+ 2
	小 樽 南	79	83	+ 4	合 計	合 計	3,625	3,721	+96
	小 樽 銭 函	19	22	+ 3					

(6)クラブ別年間出席率一覧表

分 区	月 クラブ名	1987年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	1988年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	年 間 平均(%)
第 一 分 区	深 川	87.13	81.52	81.16	78.63	81.64	85.12	84.70	83.01	89.53	85.42	87.32	89.59	84.56
	羽 幌	81.38	77.32	73.26	77.07	78.75	81.00	92.26	92.68	88.73	87.80	91.11	87.56	84.08
	妹 背 牛	85.55	93.05	94.44	87.49	80.55	92.21	91.66	93.05	92.21	88.20	88.20	92.92	89.96
	小 平	92.72	90.90	86.54	91.66	89.58	91.66	87.87	93.17	84.08	74.99	86.35	86.35	87.99
	留 萌	100	100	100	100	100	98.61	100	100	98.20	99.78	100	99.28	99.66
分 区 小 計		89.36	88.56	87.08	86.97	86.10	89.72	91.30	92.38	90.55	87.24	90.60	89.74	89.25
第 二 分 区	赤 平	88.33	87.16	93.75	88.48	91.63	90.62	90.00	87.73	94.05	95.84	93.18	90.70	90.96
	芦 別	97.73	98.59	98.18	98.88	97.69	96.75	98.15	97.71	98.61	97.47	100	96.63	98.03
	砂 川	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	滝 川	95.40	96.90	94.00	91.84	93.63	89.71	95.00	93.44	92.07	93.50	95.68	95.43	93.88
分 区 小 計		95.37	95.66	96.48	94.80	95.74	94.27	95.79	94.72	96.18	96.70	97.22	95.69	95.72
第 三 分 区	美 唄	97.84	97.85	99.44	99.55	97.73	97.66	100	100	98.18	100	100	100	99.02
	江 別	90.98	92.03	89.73	90.47	89.86	90.22	89.33	88.00	88.66	89.24	88.78	92.29	89.97
	岩 見 沢	95.63	97.73	97.45	97.12	98.34	97.28	96.67	96.95	95.00	95.45	96.70	95.70	96.67
	岩見沢東	95.45	88.63	86.27	78.78	94.94	90.41	87.50	88.23	85.71	88.97	90.00	91.42	88.86
	栗 沢	88.94	85.93	92.55	82.45	90.96	94.04	91.67	91.48	90.00	89.50	92.00	86.00	89.63
	栗 山	87.77	87.18	90.64	92.54	90.29	93.33	93.13	87.68	83.60	88.00	89.50	88.33	89.33
第 四 分 区	当 別	96.10	92.50	92.50	86.87	90.80	94.00	96.13	92.30	92.28	98.07	98.08	98.08	93.98
	分 区 小 計	93.24	91.69	92.65	89.68	93.27	93.85	93.49	88.95	90.49	92.75	93.58	93.12	92.49
	札 幌	99.02	99.66	99.67	99.51	99.34	98.28	99.03	99.21	99.22	99.35	98.91	98.41	99.13
	札 幌 北	98.16	99.17	99.50	99.75	98.50	98.75	99.75	99.20	99.00	98.79	98.42	98.30	98.94
	札 幌 西	98.49	99.06	99.08	97.37	99.01	97.17	98.12	94.89	96.66	98.87	96.22	96.98	97.66
第 五 分 区	札幌西北	94.82	97.70	97.26	99.26	97.22	97.80	97.27	99.37	98.88	100	95.60	98.07	97.77
	札幌手稲	98.36	97.45	95.89	96.85	98.47	96.95	97.61	97.32	99.41	97.85	98.78	97.55	97.71
	分 区 小 計	97.77	98.61	98.28	98.55	98.51	97.79	98.37	98.00	98.63	98.97	97.59	97.86	98.24
	札 幌 東	99.57	100	99.82	99.13	99.67	99.14	99.64	99.75	99.40	99.43	99.49	99.85	99.57
	札幌幌南	100	100	100	100	99.74	100	100	100	100	100	100	100	99.98
第 六 分 区	札幌真駒内	98.87	99.05	98.59	98.61	99.55	99.27	99.09	99.08	98.15	100	99.42	99.65	99.11
	札 幌 南	98.47	98.31	97.12	97.53	99.44	97.17	98.68	98.97	97.52	99.07	98.21	96.22	98.06
	新 札 幌	97.15	99.11	94.68	97.34	96.31	97.25	98.34	97.87	97.34	98.30	96.24	98.89	97.40
	分 区 小 計	98.81	99.29	98.04	98.52	98.94	98.57	99.15	99.13	98.48	99.36	98.67	98.92	98.82
第 六 分 区	岩 内	92.50	96.74	88.13	82.55	86.95	90.86	85.47	73.61	88.45	85.53	85.70	79.88	86.36
	俱 知 安	90.50	82.50	89.30	84.90	84.30	83.80	84.90	80.36	84.90	83.30	86.20	84.90	84.99
	小 樽	97.94	98.16	97.23	96.75	97.34	96.21	96.24	96.17	95.93	96.48	95.95	95.92	96.69
	小 樽 南	94.70	94.48	92.36	88.27	91.78	91.95	92.31	93.60	93.92	93.53	94.26	88.16	92.44
	小樽銭函	78.00	79.80	78.60	73.30	81.00	82.90	81.00	74.60	69.50	66.10	76.19	71.40	76.03

注：札幌モーニングＲＣは６月２３日創立のため、この表には記載されていない。

地区の現勢

分 区	月 クラブ名	1987年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	1988年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	年 間 平均(%)
	蘭 越	81.74	82.61	84.79	81.73	83.54	86.26	83.37	80.21	81.25	78.13	82.29	78.53	82.04
	余 市	86.70	82.80	81.30	81.80	87.50	82.60	88.00	87.80	82.90	86.04	89.33	86.36	85.26
	分 区 小 計	88.87	88.16	87.39	84.19	87.49	87.80	87.33	83.76	85.26	84.16	87.13	83.59	86.26
第 七 区 分	千 歳	98.96	99.00	97.80	94.88	94.76	92.90	95.89	98.25	97.33	97.42	96.07	95.60	96.57
	恵 庭	90.80	89.40	87.80	92.20	94.10	91.10	90.50	83.50	91.92	92.50	92.60	98.00	91.20
	北 広 島	95.24	85.23	89.54	88.33	90.63	87.50	87.50	89.30	78.00	82.00	82.80	89.60	87.14
	白 老	87.30	83.20	84.80	81.10	85.70	88.30	90.00	95.80	96.40	93.70	94.00	89.40	89.14
	苫 小 牧	96.35	93.76	92.84	94.50	90.41	92.09	90.26	95.13	90.14	93.68	88.92	88.58	92.22
	苫小牧北	96.79	97.12	97.01	99.29	96.65	96.87	98.27	95.77	92.28	97.02	94.32	94.69	96.34
	分 区 小 計	94.24	91.29	91.63	91.72	92.04	91.46	92.07	92.96	91.01	92.72	91.45	92.65	92.10
第 八 分 区	え り も	84.34	93.47	86.36	92.72	95.45	94.54	95.23	85.71	84.75	88.09	85.71	82.03	89.03
	三 石	71.43	72.38	70.24	70.24	69.05	76.67	69.84	67.86	69.84	66.67	69.52	72.84	70.55
	様 似	74.09	67.64	69.84	59.99	68.38	69.11	80.39	74.25	66.17	79.40	77.20	75.73	71.85
	静 内	89.47	100	95.62	93.42	82.10	95.64	92.21	81.48	96.05	100	100	100	93.83
	浦 河	86.70	93.08	88.90	86.45	88.16	87.28	82.41	73.00	81.46	93.90	83.50	80.31	85.43
	分 区 小 計	81.21	85.31	82.19	80.56	80.63	84.65	84.02	76.46	79.65	85.61	83.19	82.18	82.14
第 九 分 区	伊 達	84.50	91.66	90.91	85.55	87.18	96.31	95.39	86.33	83.43	83.19	89.80	86.43	88.39
	室 蘭	100	91.00	100	100	75.00	87.00	81.00	92.00	80.00	84.00	93.00	81.00	88.67
	室 蘭 東	91.03	96.76	100	100	100	100	100	100	95.77	95.19	80.13	100	96.57
	室 蘭 北	90.20	78.64	92.60	100	100	100	100	83.07	86.13	81.99	93.33	90.19	91.35
	登 別	82.36	74.99	81.12	83.12	83.66	79.08	87.50	84.72	85.11	82.98	81.30	84.79	82.56
	洞 爺 湖	67.18	90.66	67.85	91.07	71.42	60.71	80.35	100	82.22	79.50	100	85.20	81.35
	分 区 小 計	85.88	87.29	88.75	93.29	86.21	87.18	90.71	91.02	85.44	84.48	85.59	87.94	88.15
第 十 分 区	函 館	95.16	92.91	94.76	94.28	92.74	94.96	94.86	93.30	92.77	93.86	93.11	94.95	93.97
	函館亀田	87.25	88.20	85.42	83.59	82.50	86.98	84.78	83.91	82.61	82.32	80.61	83.70	84.32
	森	78.00	79.00	81.20	90.32	81.45	89.03	87.90	82.25	92.26	83.87	84.44	79.33	84.09
	七 飯	87.00	82.04	86.72	88.28	86.46	88.13	87.50	87.50	86.90	86.00	85.00	86.70	86.52
	長 万 部	77.38	77.06	84.79	68.75	73.33	81.04	81.82	74.73	79.17	76.04	66.67	76.04	76.40
	分 区 小 計	84.96	83.84	86.58	85.04	83.30	88.03	87.37	84.34	86.74	84.42	81.97	84.14	85.06
第 十 一 分 区	江 差	85.00	70.00	81.44	85.48	87.09	82.41	88.70	90.32	91.93	93.54	73.78	77.42	83.93
	函館五稜郭	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	函 館 東	92.43	92.83	90.54	90.17	88.00	92.26	89.11	88.34	87.15	92.74	91.12	91.24	90.49
	函 館 北	93.17	93.61	93.01	90.93	90.51	90.78	89.95	88.54	85.11	89.34	88.52	87.54	90.08
	松 前	93.33	83.70	83.00	80.00	83.00	91.00	59.15	65.90	60.00	57.50	60.00	55.44	72.67
	分 区 小 計	92.79	88.03	89.60	89.32	89.72	91.29	85.38	86.62	84.84	86.62	82.68	82.33	87.43
	合 計	91.02	90.52	90.62	90.02	90.06	91.18	91.22	89.61	89.47	89.99	90.23	89.65	90.34

(7)新クラブの設立

地区内第61番目のクラブとして、札幌モーニングR Cが設立された。例会を朝行なうクラブとしては全国で3番目、地区では初めてである。

クラブ名 札幌モーニングR C

特別代表 三浦祐晶 (P.G.)

スポンサークラブ 札幌北R C

創 立 1988年6月23日

承 認 1988年6月30日

チャーターメンバー 31名

初代会長 近藤良一

初代幹事 堀居信次

例 会 日 水曜日 AM 7:30

例 会 場 札幌市中央区北5条西5丁目

センチュリーローヤルホテル

(011) 221-2121

事 務 所 〒060 札幌市北区北10条西4丁目

北海道防災センタービル3F

(011) 756-7171

2. 地区内行事

(1)地区大会

開催月日 1987年9月26日(土)～27日(日)
 開催地 札幌市
 会場 札幌市民会館，札幌グランドホテル
 ホストクラブ 札幌ロータリークラブ
 参加クラブ 地区内 60クラブ， 地区外 4クラブ
 参加人員 来賓 2， 地区外会員 16名， そのご家族 15名，
 地区内会員 1,728名， そのご家族 225名，
 ローターアクター、インターアクター、財団奨学生、米山奨学生、
 G.S.E.・学友および交換学生、REX 104名
 総 数 2,090 名
 R.I.会長代理 宋 仁 相 (R.I.第365地区P.G.)

— 大会プログラム —

9月25日(金)

- 記念ゴルフ大会 (札幌国際カントリークラブ 島松コース)

7:30 スタート

9月26日(土)

- 会長・幹事会 (札幌グランドホテル
協議会 金枝の間
昼食会 銀扇の間)

9:00 登 録

9:30 点鐘、君が代斉唱、大韓民国国歌演奏、ロータリーソング、来賓役員紹介、開会のことば、ガバナー挨拶、R.I.会長代理挨拶

10:00 協 議

11:00 R.I.会長代理歓迎昼食会

12:00 閉 会

- 大会第1日目 (札幌市民会館)

12:00 登録開始

13:00 開会セレモニー

13:10 点鐘、開会宣言、君が代斉唱、大韓民国国歌演奏、ロータリーソング、開会のことば、R.I.会長代理夫妻、来賓、役員紹介、物故会員追悼、参加クラブの紹介、青少年参加者の紹介、登録委員会報告、歓迎のことば、来賓祝辞、祝電披露、札幌市に寄付金贈呈

14:40 「ミュージックファンタジー」

15:00 ガバナー挨拶、R.I.会長メッセージ、ガバナー指名委員会報告、1989年規定審議会代表議員選出報告、ガバナ

ー・ノミニー紹介、ガバナー・ノミニー

挨拶、決議委員会報告、決議採択、記念品贈呈、表彰、諸事お知らせ

17:20 点 鐘

- 記念懇親会 (札幌グランドホテル)

第1会場 グランドホール 別館2F

第2会場 金 枝 の 間 東館2F

17:50 入 場

18:00 開会宣言、挨拶、乾杯、アトラクション

19:30 閉 会

9月27日(日)

- 大会第2日目 (札幌市民会館)

8:30 登録開始

9:00 点鐘、ロータリーソング、R.I.理事挨拶、R.I.現況報告、次期大会開催地発表、地期大会ホストクラブ挨拶

9:40 分科会案内

9:50 分科会 (地域社会に奉仕する分科会、国際奉仕分科会、青少年分科会)、分科会報告、諸事お知らせ

11:50 昼の交歓

13:00 記念講演「世界の中の日本」

NHK放送総局特別主幹 磯村尚徳氏

14:40 R.I.会長代理講評、ガバナー謝辞、ロータリーソング

15:00 閉会点鐘

(2)地区協議会

開催月日 1988年4月29日(金)
 開催地 札幌市
 会場 札幌ローヤルホテル
 ホストクラブ 札幌西RC
 参加クラブ 地区内全クラブ(60RC)
 部門別協議 会長、幹事、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、
 情報・増強・拡大から1つ 計7部門

(3)クラブ会長エレクト研修セミナー

開催月日 1988年3月20日(日)
 開催地 江別市
 会場 野幌公民館
 ホストクラブ 江別RC
 参加クラブ 地区内全クラブ(60RC)

(4)地区情報セミナー

ケラーRI会長からの申し入れにより、下記の要領で地区情報セミナーを実施した。

開催日 1988年1月17日(日)
 開催場所 ホテル札幌会館 (登録料 1人5,000円)
 参加者 各クラブ会長・次期会長・情報委員長・広報委員長
 指導者 カウンセラー：川並 健(第252地区PG)、
 地区情報コーディネーター：三浦祐晶(当地区PG)
 富原 薫(地区広報委員長)、浅野国夫(地区情報資料室長)
 プログラム 9:00～9:30 登録および親睦
 9:30～9:45 開会の辞
 地区ガバナー(歓迎の辞・カウンセラーの紹介)
 カウンセラーの挨拶、並にR.I.会長のビデオを通じての挨拶

地区内行事

9:45～10:45	第1回会議（ロータリー情報） 指導：カウンセラー
10:45～11:00	休 憩
11:00～12:00	第2回会議（広 報） 指導：カウンセラー
12:00～13:00	親睦昼食会 （クラブ会長、会長エレクト、ロータリー情報委員長、 広報委員長は、それぞれ指定された席その他は自由席）
13:00～14:00	グループ別会合 （問題の確認と解決に対する提案） グループⅠ クラブ会長と会長エレクト （指導：地区ロータリー情報コーディネーター） グループⅡ クラブ・ロータリー情報委員長 （指導：地区ロータリー情報委員長） グループⅢ クラブ広報委員長 （指導：地区広報委員長）
14:00～14:15	休 憩
14:15～15:15	グループ別会合 （活動計画の推進） 同じリーダーの下にグループⅠ、Ⅱ、Ⅲ、会合を再開 ロータリー情報及び広報を、クラブや地域社会レベルにおいて更に効果的なものとする方法の討議
15:15～15:30	閉会の辞 ビデオ…… R.I.会長による閉会の辞 カウンセラーの感想 地区ガバナーの閉会の辞
15:30	散 会

(5)ケラー R.I. 会長ご夫妻歓迎合同例会

開 催 日 時	1988 年 3 月 30 日 (水) 12:30
会 場	札幌グランドホテル
参 加 者	60 クラブ 計 387 名
ホ ス ト	札幌 R C
司 会	札幌 R C 会長 西條正博
通 訳	佐野壬知子さん
懇 談 会	例会後、R.I.会長とクラブ会長との懇談会を行ない、分区代理も参加した。

記者会見 別に R.I.会長にはテレビ、新聞社の記者と合同会見を行なった。

(6)都市連合討論会（分區別 I.G.F.）

分 区	フォーラム ・リーダー	開 催 日 (1988年)	開 催 地 ・ 会 場	ホストクラブ	登録者数
第1分区	中 村 宏	5月15日(日)	羽幌中央公民館	羽 幌	202名
第2分区	相 馬 寛	5月29日(日)	赤平公民館	赤 平	208名
第3分区	岡 田 泰 紀	4月17日(日)	当別農業会館	当 別	211名
第4・5 分区合同	武藤健蔵 木村利彦	4月9日(土)	札幌ローヤルホテル	札幌西北 札幌幌南	509名
第6分区	富 樫 英 治	3月19日(土)	小樽市、北海ホテル	小 樽 南	190名
第7分区	坂 田 義 和	6月4日(土)	北広島団地住民センター	北 広 島	189名
第8分区	工 藤 正	5月22日(日)	様似町、中央公民館	様 似	148名
第9分区	三 浦 昭 三	2月21日(日)	洞爺湖、ホテル万世閣	洞 爺 湖	121名
第10・11 分区合同	田 中 修 市 棚 田 清	3月26日(土)	函館国際ホテル	函 江 館 差	380名

(7)公式訪問日程表

クラブ名	会長・幹事懇談会	クラブ協議会	例 会	クラブ名	会長・幹事懇談会	クラブ協議会	例 会
えりも	7月8日 水 16:30	18:00	7月9日 木 12:30	室蘭東	10月13日 火 16:30	18:00	10月14日 水 12:30
様似	7月9日 木 16:30	18:00	7月10日 金 12:30	室蘭	10月14日 水 16:30	18:00	10月15日 木 12:30
深川	7月13日 月 16:30	18:00	7月14日 火 12:30	登別	10月15日 木 16:30	18:00	10月16日 金 12:30
留萌	7月14日 火 16:30	17:30	7月15日 水 12:15	函館亀田	10月19日 月 9:30	11:00	10月19日 月 12:30
羽幌	7月15日 水 16:30	18:00	7月16日 木 12:15	七飯	10月20日 火 16:30	17:30	10月20日 火 18:30
小平	7月17日 金 10:00	11:00	7月17日 金 12:15	森	10月21日 水 10:30	11:30	10月21日 水 12:30
当別	7月21日 火 10:00	11:00	7月21日 火 12:30	苫小牧北	10月27日 火 15:00	16:30	10月27日 火 18:00
江別	7月22日 水 16:30	18:00	7月23日 木 12:30	恵庭	10月28日 水 15:30	17:00	10月28日 水 18:30
岩見沢	7月23日 木 16:30	18:00	7月24日 金 12:30	千歳	10月29日 木 9:30	11:00	10月29日 木 12:30
赤平	7月27日 月 16:30	18:00	7月28日 火 12:30	洞爺湖	11月2日 月 10:30	11:30	11月2日 月 12:30
砂川	7月28日 火 16:30	18:00	7月29日 水 12:30	妹背牛	11月9日 月 16:30	17:30	11月9日 月 18:30
滝川	7月29日 水 16:30	18:00	7月30日 木 12:30	岩見沢東	11月10日 火 10:00	11:00	11月10日 火 12:30
函館東	8月3日 月 16:30	18:00	8月4日 火 12:30	白老	11月10日 火 16:30	18:00	11月11日 水 12:30
函館北	8月4日 火 16:30	18:00	8月5日 水 12:30	北広島	11月12日 木 16:30	10:30	11月12日 木 12:30
函館五稜郭	8月7日 金 9:30	11:00	8月7日 金 12:30	苫小牧	11月13日 金 9:30	11:00	11月13日 金 12:30
三石	8月10日 月 10:30	11:30	8月10日 月 12:30	小樽	11月17日 火 9:30	11:00	11月17日 火 12:30
浦河	8月10日 月 16:30	18:00	8月11日 火 12:30	余市	11月17日 火 16:30	18:00	11月18日 水 12:30
静内	8月11日 火 16:30	18:00	8月12日 水 12:30	小樽銭函	11月18日 水 16:30	18:00	11月19日 木 12:30
岩内	8月19日 水 16:30	18:00	8月10日 木 12:30	小樽南	11月19日 木 16:30	18:00	11月20日 金 12:30
蘭越	8月20日 木 16:30	18:00	8月11日 金 12:15	伊達	11月24日 火 15:00	16:30	11月24日 火 18:00
江差	8月24日 月 16:30	18:00	8月25日 火 12:30	札幌幌南	11月27日 金 15:00	16:30	11月27日 金 18:00
松前	8月26日 水 10:30	11:00	8月26日 水 12:00	新札幌	11月28日 土 9:30	11:00	11月28日 土 12:30
函館	8月26日 水 16:30	18:00	8月27日 木 12:30	札幌東	12月2日 水 16:30	18:00	12月3日 木 12:30
栗山	8月31日 月 16:30	18:00	9月1日 火 12:30	札幌南	12月7日 月 9:30	11:00	12月7日 月 12:30
栗沢	9月1日 火 16:30	18:00	9月2日 水 12:10	札幌西	12月7日 月 16:30	18:00	12月8日 火 12:30
美唄	9月2日 水 16:30	18:00	9月3日 木 12:15	札幌真駒内	12月8日 火 16:30	18:00	12月9日 水 12:30
長万部	9月7日 月 16:30	18:00	9月8日 火 12:10	札幌西北	12月9日 水 16:30	18:00	12月10日 木 12:30
倶知安	9月8日 火 16:30	18:00	9月9日 水 12:15	札幌手稲	12月11日 金 16:30	18:00	12月12日 土 12:30
芦別	10月9日 金 9:30	10:30	10月9日 金 12:15	札幌北	12月14日 月 9:30	11:00	12月14日 月 12:30
室蘭北	10月12日 月 16:30	18:00	10月13日 火 12:30	札幌	12月15日 火 16:30	18:00	12月16日 水 12:30

3. 地区内委員会

(1)ガバナー諮問委員会

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 第1回 1987年6月24日(水) | 第4回 1988年2月3日(水) |
| 札幌グランドホテル | 札幌国際ホテル |
| 第2回 1987年8月31日(月) | 第5回 1988年4月21日(木) |
| 札幌グランドホテル | 札幌国際ホテル |
| 第3回 1987年11月13日(金) | 第6回 1988年6月8日(水) |
| 札幌グランドホテル | 札幌グランドホテル |

(2)ガバナー指名委員会

- 委員長 三浦祐晶(札幌北)
- 第1回 1987年7月24日(金)
札幌グランドホテル
- 第2回 1987年8月31日(月)
札幌グランドホテル
- 第3回 1987年11月13日(金)
札幌グランドホテル
- 8月末日を期日とし1989～90年度ガバナー・ノミニー候補者を募ったが、いずれのクラブからも候補者の推薦がなかったため、指名委員会は上記の日程により慎重審議を重ねた結果、榎谷真一氏(小樽南RC)を同年度ガバナー・ノミニーに選出、指名した。
- これにより坂本ガバナーは、12月21日、月信を通じてその決定を地区内に宣言した。

(3)分区代理会議

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 第1回 1987年5月23日(土) | 第2回 1988年6月18日(土) |
| 札幌国際ホテル | 札幌グランドホテル |
| 議題 1. 公式訪問について | 議題 1. 今年度の反省 |
| 2. 地区大会について | 2. その他事項 |
| 3. その他事項 | |

(4)地区委員長会議

- 第1回 1987年5月16日(土)
- 札幌国際ホテル
- 議題 1. 今年度の各委員会運営について
2. 地区大会について
3. その他事項

(5) 情報資料室

室長 浅野 国 夫 (札幌)

(1) 委員会

地区情報資料室の3委員と、越山地区幹事、半澤副幹事との打ちあわせにおいて、次のような年度計画を作成しました。

前年度は、隔月に“情報資料室ニュース”を単独に発行、配布をしてきましたが、今年度はガバナーズ・マンスリー・レターに毎月2ページ程度さいていただき、情報連絡の場として活用することとしました。また各クラブの情報委員長と連絡をとりやすいよう、名簿を作成することにしました。

任期の半ばを経過した3月15日に、地区情報資料室のあり方を検討するため委員会をもち、地区幹事のほか次期委員の方々にも参加していただきました。

(2) “情報資料室ニュース”の発行について

第1号から毎月掲載しました。主として、毎月のR.I.事務総長書翰のなかから引用しましたが、第9号には越山幹事の“地区情報セミナー開催”を、第10号では三浦地区情報コーディネーターの“IGFとIMについて”

を掲載しました。また第13号には各クラブの情報の収集・伝達の実態を5人の方々に発表していただきました。

(3) 地区情報セミナーの開催について

1月17日(日)に上記セミナーがR.I.の要請で開催されましたが、ロータリー情報と広報の2部門について、全体会議・グループ別会合が行われました。情報委員長グループ討論の進行メモについては、要約・整理のうえ各クラブの情報委員長あてお送りしました。

(4) スライド・フィルム・参考図書の貸出しについて

参考資料の利用に資するため、現行の“スライド・フィルム・参考図書貸出しリスト”を作成し2月1日各クラブあて送付しました。スライドセット16点、16ミリフィルム3点、ビデオ1点、ロータリーソングカセットテープ6点、貸出し図書23点のほか使用申込書用紙を添付したものであります。

年間の貸出し実績は、スライド…9件、フィルム…1件、ビデオ…9件、カセット…1件、合計20件で、前年の32件を下回り低調であった。なお図書の貸出しはなかった。

(6) 国際共同委員会

委員長 河 邨 文一郎 (札幌西)

今年度の活動は、第381地区との国際共同委員会の再会に尽きる。即ち、去る3月マニラ・ホテルにて、坂本・大橋両氏のガバナー年度、即ち向う2か年間の継続年限での調印

を済ませた。詳細はガバナー月信第11号に報告した。青少年の短期交換やローターアクターの相互の研修訪問、ロータリアンの交流、世界社会奉仕プロジェクトの紹介、さらにはクラブの姉妹提携等がこの委員会を通じて推進されることを期待する。

(7) 青少年交換委員会

委員長 洪 悦 郎 (札幌北)

1. 青少年交換 活動日誌

- 7月3日 地区青少年交換委員長全国会議、東京 abc 会館、委員長出席。
- 7月4日 第1回地区青少年交換委員会 札幌市センチュリーローヤルホテル 坂本ガバナー出席、前年度からの留任委員が9名中4名であるが、国別担当者2、函館1、札幌1のため、理解が出来ない点が多々有り、4時間に及ぶ討議となった。
- 8月派遣学生に対するオリエンテーション、遅延していた次年度派遣学生の選考の日程、委員の担当国、会計を決定。
- 7月8日 応募が遅れていた派遣学生が充足の見込みが出てきたため、高校への公募は一時中止し、派遣の遅いアメリカ・カナダは再募集で解決することとした。委員9名中5名出席。札幌市センチュリーローヤルホテル。
- 7月18日 アメリカ・カナダ派遣学生に対するオリエンテーションと第2回地区青年交換委員会。委員会に対しYMCAまたは250地区青少年交換委員会からチミケツブキャンプ参加についての書面が到着しないため、当地区として付き添い者派遣不能と、派遣がオーストラリア学生に限定される不公平を主たる理由として、その意義について十分討議しないで慣習の実施を今回は止めることとした。前年度までの予算などの内容がこの時点で引き継がれていなかった事も一原因であった。札幌市共済会館、委員長欠席。
- 8月3日 派遣学生選考試験(筆記) ベテル英語センター
- 8月8日 派遣学生選考試験(面接) ベテル

英語センター

- 8月10日 選考結果通知
- 8月15日 アメリカ・カナダ帰国及び派遣学生歓迎及び送別会 札幌市センチュリーローヤルホテル。
- 8月21日 アメリカ717地区学生予定より早く千歳に到着し、出迎えに苦勞する。
- 8月22日 他のアメリカ及びカナダの学生は成田到着遅延のため、1日遅れて札幌到着。
- 8月22日～28日
5日間の集中日本語教育をベテル英語センターで実施。
- 8月29日 アメリカ・カナダからの学生に対しオリエンテーション及び歓迎会 札幌市センチュリーローヤルホテル。
- 9月21日～24日 3泊4日の研修旅行を実施し、日光、鎌倉、東京では浅草、歌舞伎及びNHKを見学。
- 9月26～27日 札幌市市民会館での第251地区年次大会に出席。
- 10月8日 アメリカ派遣学生追加募集期限としたが、応募がなくその対策でクラブ主体の交換には限度があることを教えられた。
- 10月30日 第3回青少年交換委員会 札幌市センチュリーローヤルホテル。オーストラリアの学生の帰国と受け入れの対応、来日学生の負担金の実状に即した改正などを討議。
- 12月1日 交換学生と地区青少年委員会委員との懇談会及び第4回地区青少年交換委員会 札幌市センチュリーローヤルホテル。
- 12月3日 地区青少年交換委員長全国会議 東京abc会館 委員長出席、主としてオーストラリアからの学生の受け入れ。
- 12月15日 オーストラリアからの学生の「さよなら」パーティを札幌市センチュリーロー

ーヤルホテルで開催。クラブ側の都合で帰国学生1名欠席となった事はクラブの地区行事に対する協力不足を感じさせられた。9月の研修旅行でも、両親が来たために不参加となった例もあり、今後の対応を考えさせられた。

終了後委員会を開き、1月の受け入れについて相談した。

1月7日及び9日 3便に分かれて千歳より帰国の途につくので見送りをする。帰国便が学生達の都合で決まるのは、委員会にとっては負担である。

1月14日 7名中5名が千歳、1名が函館到着、1月19日に1名到着。委員が出迎。このように間隔が大きくなると続く行事に不便。

1月10日 第1ホストファミリーと地区委員の懇談会 札幌センチュリーローヤルホテル。

1月11日 アメリカ派遣学生（追加）筆記試験 ベテル英語センター。

1月12日 同 面接試験 ベテル英語センター。

1月27日～2月4日 オーストラリアからの学生7名に集中日本語教育 札幌市ベテル英語センター。

1月29日 北海道知事室公式訪問。

2月4日 250地区の交換留学生を交えて全交換留学生と地区委員との懇談会 札幌市北海道建築指導センター会議室。

2月5日 雪祭り見学 委員長と夫人、大久保夫人が案内。

午後4時からオーストラリアからの学生に対しオリエンテーション 札幌市センチュリーローヤルホテル。

午後6時から同所で歓迎会。

2月6日 札幌市長公式訪問（午前）

午後1時30分～8時 第10回札幌インターナショナルナイトに参加（北海道青少年科

学文化財団主催） 札幌市京王プラザホテル。

2月7日 オーストラリアの学生と250地区の学生は北海道開拓記念館及び開拓村見学。

2月21日 オーストラリア派遣学生へのオリエンテーション 札幌市センチュリーローヤルホテル

3月8日 札幌時計台保存市民協会の招待で、時計台110年記念の会に参加 札幌市今井デパート。

3月15日 オーストラリア派遣学生壮行会 札幌市センチュリーローヤルホテル。

3月18日 510地区の青少年交換担当委員レイ・フィールズ氏の来札で510地区派遣の2学生との面接、510地区からの2学生との懇談、地区委員会による歓迎会 札幌市ベテル英語センター及びセンチュリーローヤルホテル。

4月1日 オーストラリア派遣学生の帰国報告及び歓迎会 札幌市センチュリーローヤルホテル。

終了後委員会を開催し、充足していないアメリカ715地区への学生の高校からの推薦依頼、次年度の募集について協議。

4月15日 ガバナー月信に次年度募集要綱発表。

4月29日 地区協議会の国際奉仕部門の分科会で次期国際奉仕委員長の方々に、月信に募集規定を掲載してあるから期日までに応募方を要望した。

しかし、期日までの応募は極めて少なく、全クラブに文書で要請したが、遅延するもの多くアメリカ・カナダは募集人員に充たない結果となった。一方、88年に715地区に派遣の学生を高校から推薦してもらうように特定クラブをお願いしたが、クラブの理解不足と、受け入れ高校の拒否反応で5月末になってようやく受け入れの見込みは出たが、派遣者がなく、結果として従来そ

の地区と交換を度々行ってきたクラブが高校に依頼して推薦してもらえたことは幸いであった。

しかし、ここでもクラブ主体だけではこの事業は難しいことを再び認識させられた。

6月24日 アメリカ・カナダ学生の帰国送別会 札幌市センチュリーローヤルホテル
年度末のためかクラブの役員の出席が少なく、帰国する学生には少し気の毒な感じを抱いた。

2. 青少年交換についての問題点

前年度委員長は3年間の経験を踏まえて色々の意見を述べられている。しかし、次年度の諸手配に追われる現在、取りまとめ意見を述べる暇も余裕も無いのが実状であるので、問題点だけを列記するに留めめる。

い 青少年交換委員会経費の大幅な不足と、これに対する地区役員及びクラブの認識欠如。

ろ この事業は『クラブないし地区』とかがかかれていたものが、現在の手続き要覧では『クラブまたは地区』という表現となっている。どちらが主体なのかは十分検討の必要があるが、クラブ主体と思いついていていの方もかなりあり、地区への連絡がわるかったり、地区への相談なくプログラムを実施されたり、地区委員長は無駄な労力を強いられる。月毎のホストクラブ報告やホストファミリー報告は1クラブを除き全く提出されなかったし、前年度に派遣された学生12名の内、4名は両親に連絡しても、帰国までついに1回も報告が提出されなかったのはクラブも親も何処の

好意で派遣されたのかという認識のなさに大きな不満を感じる。

は 大変な努力を要したが、返事を時には出すことによって、本年度は学生の報告は大体欠かさずに提出された。

に 青少年交換には専従職員が必要である。このためには少なくとも現在の負担金を倍額以上にしなければならない。たとえば会員全員に1回のメークアップ分を提供していただけないだろうか。もち論冗費はできるだけ省いたうえで十分な予算検討が必要である。

ほ ホストスクールの交渉に当たっては、現在は明確なテリトリーは考えられていないとはいえ、元の区域内に所在の高校に交渉する場合には、事前に当該クラブに連絡を取るべきである。

へ 派遣学生の募集に関心の薄い現状の解決には、クラブの国際奉仕委員長が自らの努力がもっとも重要で、これを総て地区委員会に頼る事は間違いである。
と プレゼントは止めてほしいと訴えても、相変わらずたくさんのものが学生に渡されるのが日本の悪い面である。相手方は期待もしているし、馬鹿にもしている。

ち 高校にたいして地区委員会が働きかけてほしいとの希望があるが、クラブ主体を主張される限り、地区としては無駄な努力に終わるとみて行わないようにした。比率を決めてでもよいから、一部を派遣学生公募方式を取ることにでもなるのならば、地区は積極的に高校関係者への働きかけをしなければその役がつかまらないことになる。

(8)世界社会奉仕委員会

委員長 戸部 謙一（札幌西）

1. 1987年7月 フィリッピン バギオRC (R.I第379)
バギオ日本人会へのスカラーシップの贈呈 (継続活動) US\$ 1,000
1. 1987年12月 韓 国 ソウル南RC (R.I第365)
トウコク大学図書館へ図書の寄贈 (継続活動) ￥92,000
1. 1988年5月 フィリッピン ウエスト・ダバオRC (R.I第386)
消防自動車用中古ホース2組の寄贈 ￥150,000
1. 1988年6月 タイ (SURAT THANI)スラッタニRC (R.I第336)
中古消防自動車1台贈呈
1. 1988年6月 フィリッピン サンパブロ・シティーRC (R.I第382)
「愛と光の学園」のスクールバスの修理代と援助 US\$ 2,000
(1975～76年に第251地区より贈呈したスクールバスの修理の為)
1. 1988年6月 フィリッピン マカティ西RC (R.I,381)
「Rotary Village」(ロータリー村)の建設資金の一部として贈呈 US\$ 5,000

(9)インターアクト委員会

委員長 岩崎 鉄男（札幌東）

活動方針として私は、インターアクト委員長が初めての為に、年度計画を立てましたが、企画どおり進まずとまどいの色こく、地区委員会として委員一同挙げて努力しましたが、新インターアクトクラブも作る事が出来ずに終わった次第です。

私の1番目の仕事として、1日研修に出席しました。6月28日(日)ホストクラブ札幌RC、ホスト校札幌第1高等学校でした。私も初めての為、少々とまどいましたが次年度より委員長という事で緊張の1年でした。

1. 活動計画

地区委員会において前期とまったく同じ情報の交換を行い、各クラブの活動の促進を計りました。

2. 研修活動

1987年8月17日～20日までの4日間、北関東をまわり第255地区との交歓会を宇都宮市内インターアクトクラブ69名、ロータリアン18名、顧問教師8名、合計95名と、当第251地区インターアクト28名、ロータリアン8名、顧問教師6名、合計42名にて実施しました。

3. 研修旅行団受け入れ

7月25日(土)第255地区より総数105名、経済センターにて交歓会を実施しました。

4. ロータアクトクラブとの合同清掃奉仕

ロータアクトの日(9月3日)に豊平川清掃奉仕をしました。

5. 年次大会

10月31日～11月1日スポンサークラブ札幌東RC、ホスト校北海高等学校、ホテル札幌会館にて予定通り実施致しました。

6. 6月25日 第2回目の地区委員会

顧問教師、地区委員、I A委員の合同委

員会を開催しました。

(10)ローターアクト委員会

委員長 宮 澤 正 (札幌北)

ローターアクト地区代表に、当地区として始めて、学生のしかも女性の地区代表、常盤美恵子さんが誕生し、彼女の活発な行動力と明るい性格と実行力で、地区内はもとより、全国に第251地区R AをP Rする事が出来ました。

又9月13日の日曜日、ローターアクトの日には、札幌市の御協力をいただき、豊平川の清掃奉仕が好天に恵まれ、函館、深川、赤平、岩見沢等からも参加者があり、又地区幹事、副幹事を始めロータリアン、ご夫人、インターアクト、北区青年サークルのご参加もいただき、約150名が清掃奉仕を行い、美しい汗を流し、交流を深めました。又地区広報委員会のご協力もあり、ローターアクトの日の目的である、アクトの日のP Rが、若い人達の清掃奉仕と云う事で、道新には写真入りの記事で報道され、H B C、S T V等のテレビでも放映されました。

ガバナーの御支援により、当地区に10年、15番目の新しいクラブ、千歳ローターアクトクラブが、6月11日盛大に証明書伝達式を行い、フレッシュな力強いクラブが誕生し、地区内に新風を吹き込んでくれました。

10月に行なわれたR A年次大会には275地区、東京荒川R A Cの安井会長が出席され、又12月には、研修旅行の打合せのため、沖縄から275地区の地区代表の登川さんが来札され、札幌北R Cの年末家族会にも出席され、又札幌南R Cの皆様方に大へんお世話になりました。

4月23日の留萌R A C15周年記念式典にも

沖縄から登川地区代表が出席され、留萌R Cの会員を驚かせる等、他地区との交流が活発に行なわれた1年間でありました。

以下1年間の主な行事をご報告致します。

7月11日 地区R A委員会、R A地区3役との打合せ会。

12日 R A提唱R CのR A委員長会議、及びR A地区代表、R A会長、幹事とガバナーとの会合。

14日 R Aの日について札幌市桂助役訪問、協力を要請。

8月11日 地区代表留萌R A C訪問に同行。

21日 札幌市役所にR A地区代表同行。

9月3日 千歳R Cの青少年フォーラムに地区代表と出席。

3日 地区代表、赤平R A C訪問に同行。

9日 R Aの日のP R、午前11時より札幌市役所11階記者クラブに於いて、地区代表同席。

13日 R Aの日、豊平川の清掃奉仕。

26、27日 R.I. 第251地区の年次大会参加。
R Aの店出店 (10クラブ)

10月24、25日 R A年次大会。

ホスト 札幌大学R A C

コホスト 札幌南R C

25日 地区運営委員会。

11月30日 岩見沢R A C訪問に同行。

12月21日 275地区登川代表、沖縄より来札。

27日 沖縄研修旅行結団式。

1月10日～15日 258地区R Aと交歓

東京・沖縄研修旅行実施

3月12、13日 R Aアジア第1、第3ゾーン
研修会 於京都

4月6日 千歳R C、新クラブの件で打合。

地区委員会

4月23日 留萌RAC創立15周年記念式典。
5月4日 沖縄RA研修団交流会。
12日 千歳RC、高慶氏、末広氏、新クラブ名簿持参、ガバナー捺印。
22日 RA地区協議会。

ホスト 札幌北RAC
コホスト 札幌北RC
6月11日 千歳RAC証明書伝達式
6月25日 RA5大学交流会
ホスト 拓殖短大RAC

(11)広報委員会

委員長 富原 薫(札幌)

<主眼点>

この1年「地域住民とロータリーと云う奉仕団体が密接な関係を形成してゆくために、マスコミ関係者に情報を提供し、ロータリーの社会活動について理解を深めてもらう」ことに務めました。

昭和62年9月26・27日両日1987～1988年度R.I.第251地区年次大会が札幌市民会館で開催されました。この大会開催に際して報道機関への取材依頼を行うと共に、大会前日の9月25日R.I.会長代理との記者会見を準備しロータリー精神のPRの徹底をはかりました。

昭和63年1月17日ロータリーの情報伝達をより円滑化するため、川並 健カウンセラーをお迎えして「地区情報セミナー」がホテル

札幌会館で開催されました。前日16日に打合せを行い、17日当日3グループに分れ、それぞれ討議を深めました。グループⅢはクラブ広報委員長(富原地区広報委員長)のもと、ロータリーの奉仕活動に関する情報を支持する層への広報活動、ロータリーの奉仕活動から直接恩恵を受けることのない無関心派の人々にも情報を伝える積極的な広報活動等の点について討議がなされました。これによって参加会員全員が広報活動の重要性を再認識する意義あるセミナーとなりました。

また、昭和63年3月30日、ケラーR.I.会長ご夫妻が札幌を訪問されました。直ちにこの件について報道機関に積極的なPR方を働きかけました。その結果R.I.会長ご夫妻に対するインタビュー、歓迎合同例会が取材され新聞・放送を通じて全道に紹介されました。

(12)拡大委員会

委員長 河邨 文一郎(札幌西)

坂本ガバナーの意欲と、三浦祐晶特別代表の熱心な努力によって、年度末に札幌市内に札幌モーニングクラブの誕生を見た。スポンサークラブは札幌北クラブである。

(13)会員増強委員会

委員長 橋 本 利 弘 (札幌東)

報告にあたり、この年度、坂本ガバナー、各分区代理の皆様、並びに越山地区幹事ほか副幹事、事務局の皆様には大変な御配慮を戴きました事を心から厚く御礼申し上げます。

さて、会員増強は口で言ふは易しいが、増強の結果である数字は仲々増えてくれない。

上半期に新入会員となられた方が245名もあるにも拘らず、退会者は143名もあり、実に58.4%にあたる。又、そのうち半数以上が一身上の都合、職務多忙と云う理由で退会していることは注目に値することである。

年度末ぎりぎり新クラブ札幌モーニングクラブが誕生、チャーターメンバー31名である。心からお祝い申し上げ、今後の発展を期待したい。

併し、新クラブメンバーを加えたにも拘らず、結果的には本年度会員増強は、年度期首3,625名、期末3,721名となり96名増に止まった。純増率2.65%となり、目標に0.35%及ばなかった。会員数にして僅か13名である。

以下、本年度主要活動を記す。

1. 1987～88年度、アジア第1、第3、ゾーン地区会員増強セミナー。

1987. 7. 3. (金)各地区委員長会議が招集され、ゾーン内各地区の会員増強計画および提言、又、その問題点につき討議いたしました。

2. 地区、第1回会員増強委員会。

1987. 8. 2. (日)

主なる議題は、

- (1) 地区各クラブ会員増強の現状。
- (2) 会員増強と退会防止について。
- (3) 会員増強と拡大について。

以上3点を重点活動とし、純増3%を達

成目標といたしました。

3. 上半期における会員増強についてのアンケート調査。

地区内各クラブにおける上半期の増強実態調査をアンケート形式でお願い致しました。この集計結果はガバナー月信No.12に報告掲載されております。その顕著な事項として、

- ①上半期増強は純増、2.8%であるが、退会者が目立ちます。
- ②分区毎に比較しますと、増強の差が著明です。
- ③後期、各クラブ1名増強を期待いたします。

4. 第2回会員増強委員会

- (1) 上半期会員増強アンケート調査結果と、下半期増強活動について。
- (2) 下半期増強計画について。
- (3) 会員増強、純増3%目標達成のために。

以上

尚、次ページにアンケート結果一覧表を載せましたのでご参照頂きたい。

会員増強に関する増減の実態（1987. 7. 1～12. 31）

	クラブ	推薦者				新入会員年齢				退会者				会員増強委員会活動		
		期首 会員数	3人 以上	2人	1人	40才 以下	41- 50	51- 60	6才 以上	転出	死亡	個人的 理由	個人的理由内容	委員 数	会合 回数	最重点方針
第一分 区	深川	70										2	高齢1、不明1	3	1	会員減を絶対補充
	羽幌	43		2						1		1	一身上の理由1	7	2	増強月間を設ける
	妹背牛	18		2										3	3	商工青年部を迎えるよう努力
	小平	10		2				1	1			1		2	4	
	留萌	112	2	1	13	1	1	2	2					6	5	未充填職業分類をすぐうめる
	分区小計	253	2	7	13	1	1	3	3			4				
第二分 区	赤平	48		1		1	1			2		2	健康1、一身上1	5	3	全会員の全面協力
	芦別	54		2			2			1				4	2	青年会議所と密な連携を結ぶ
	砂川	64			4		1	1		3				5	2	職業分類表を絶えず検討
	滝川	90			2		2			1	1	1	職業分類がなくなった1	3	2	増強への会員の意欲を向上
	分区小計	256		3	6	1	6	1		7	1	3				
第三分 区	美唄	46			1			1						3	3	未充填職業分類をうめる
	江別	79		1	7			8	1		1	1	公職多忙・健康1	3	5	本年度増強計画11名
	岩見沢	86		3	4		3	7		4	1			4	3	
	岩見沢東	37			2		1	1		1				3	1	可能な限り若い人を入会
	栗沢	47			2			1	1			1		5		増強目標5名以上
第四分 区	栗山	53			5		2	3		1	1			4	5	人格・教養とも適格者を推薦
	当別	37		1	2		3		1	1		1		3	4	
	分区小計	385		5	23		9	21	3	7	3	3				
	札幌	157	1	4	21		6	8	2	2	1	1	病気1	7	1	若い会員を下期に2～3名増強
	札幌北	100			13	3	2	2		2	3	3	職務繁忙3	4	5	若い会員の増強
第五分 区	札幌西	138			1		1	2			1	4		4		報道・広告代理業者の入会
	札幌西北	53	3				2	1				2		4	2	未充填職業分類をうめる
	札幌手稲	70		2	8	7	3	2				1	職務多忙1	3	4	会員増強月間の設置（7・12・6月）
	分区小計	518	4	6	43	10	14	15	2	4	5	11				
	札幌東	141		6				5	1	1		5	病気3、職務多忙1、不明1	6	2	5人に付1人の新会員推薦を実施
第六分 区	札幌南	99		1	1		1	2			1	3	業務多忙2、病気1	4	1	シニア会員分の補充に努める
	札幌真駒内	53	3				2	1						6	2	シニア会員分の充填をめざす
	札幌南	137	1	1	6		5	5	1	5	1	3	健康3	6	2	転勤退会者の後任を早く推薦
	新札幌	43		1	3		4	1				2	会員身分終結1、退職1	2	3	例会ごとに情報交換を行なう
	分区小計	473	4	9	10		12	14	2	6	2	13				
第七分 区	岩内	54		1	1	1	1	1		3		1	職務繁忙1	5	1	可能な限り適格者を探す
	倶知安	42												3	3	下期2名以上の会員増強

第六分区	小樽	108		1	14	2	1	5		5	2	3	名誉会員へ2、職務繁忙1	5	2	未充填職業分類をなくする
	小樽南	79	1		3	1	2			1				4	3	各部落毎の密な情報交換
	小樽銭函	19			2		1		1					3	6	全会員が増強委員の意識を持つ
	蘭越	23			1	1								1		若い優秀な会員の発掘
	余市	46			1		1	1			1	1	例会出席不可能1	4	2	青年会議所卒業者へのアプローチ
第七分区	分区小計	371	1	2	22	5	6	7	1	9	3	5				
	千歳	100		11		2	6	3		1		1	職務繁忙1	6	5	会員一人一人に増強を訴える
	恵庭	45	1	2		3	6			2		3	経済理由1、出席1、勤務遠1	4	6	年度目標の達成
	北広島	22	1	1	1		2		1					4	4	退会減少防止
	白老	28			1			1		1	1			5	5	
第八分区	苫小牧	80	1	1	5		4	6		3	1	2		4	3	会員増強
	苫小牧北	70			3		2	1		1		1		3	3	退会者の補充を計る
	分区小計	345	3	15	10	5	20	11	1	8	2	7				
	えりも	23	3							2				2	6	会員増強の実現
	三石	21		2										6	3	最小限10%を目標に活動
第九分区	様似	37			3		2		1	1	1			3	2	地元のニーズに応える適格者を推薦
	静内	57												3	2	会員全員の理解
	浦河	47		2				2				1		2	3	
	分区小計	185	3	4	3		2	2	1	3	1	1				
	伊達	63		1	3		4		1					4	4	
第十分区	室蘭	102			4		2	2		1				5	5	若手人材の増強
	室蘭東	63			2		2			2	1	1	退職1	3	1	下期に2名増強
	室蘭北	61			2		1		1	1		1	退職1	3	2	未充填職業分類17をうめる
	登別	48			2	1	1			1		1	健康1	4	2	シニアアクティブの職業分類を補充
	洞爺湖	16												2		機会をとらえ入会を勧誘
第十一分区	分区小計	353		1	13	1	10	2	2	5	1	3				
	函館	119		2	3		5	2		2	2			7	1	
	函館亀田	49			1		1			2		1	会社の都合1	2	1	
	森	32		2	2	1	2	2		3	1			4	3	未充填職業分類をうめる
	七飯	32												4	4	活力あるクラブには若い会員必要
第十二分区	長万部	22		4			2	2		1		1	高齢1	3	4	
	分区小計	254		8	6	1	10	6		8	3	2				
	江差	31												3	6	
	函館五稜郭	59	1		1		2	1	1	1	1			2	1	
	函館東	68		2	9	2	5	6		1		2	健康状態1、都合1	3	1	
第十三分区	函館北	62	1	1	2	2	2	3		2	2	2	健康1、都合1	4	1	
	松前	12										1	町議選の落選による1	2	毎週	次年度迄に最小限2名増強
	分区小計	232	2	3	12	4	9	10	1	4	3	5				
	合計	3,625	19	63	161	28	99	92	16	62	24	57				

(14)ロータリー財団委員会

委員長 塩谷 猛（札幌西）

今年度はポリオプラスキャンペーンの2年目で、正しく実行の年であり、結果は近年に無い多数の被表彰者であった。内訳は、

新マルチプル・フェロー（通称スターフェロー） 45名

新ポール・ハリス・フェロー 162名

新ポール・ハリス・準フェロー 97名

である。

これはユニセフ経由で免除の特典があることも確かに影響しているが、ロータリアンの熱意の現われであり、ご同慶に耐えない。只、ポリオプラスに重点を置いた関係で一般のローター財団への寄付が減少した。

この減少は3年後の派遣奨学生の数に作用するので、既にポリオプラスの最終目標を突破したクラブもあり、次年度以降におけるご配慮をお願いしたい。尚、別項に当地区内のクラブ別寄付一覧表を掲げてあります。

(15)財団奨学生・学友委員会

委員長 伊藤 千秋（札幌西）

当委員会の年次報告を報告します。

今年度は当初5点程の重点的指向を用意した。

(1) 奨学生の詮衡について

この件は委員会の最大課題として、十分な慎重さの下、志願者の専攻、将来の地区との関連等を考慮することを話合う。

(2) 地区大会参加について

学友をきちんと把握し大会に参加する契機を積極的に助長する。そのための行事内容と核となる学友の確保。（これには学友名簿があるが信憑性に疑義があり整理の要がある）

(3) オリエンテーションについて

奨学生のオリエンテーションをきちんと実施し、彼らに「ロータリー理解、知識」を明確に保持してもらい、良い相互理解、親善の懸け橋ともなってもらおう。従来この点でやや認識の不足な者がいた。

(4) 奨学生推薦手続きについて

クラブの承認、推薦を得て地区に必要な書類が上って来るのだが、この手順の逆のケースが結構あり、従ってクラブの関わりの度合いが時に低くなる。この点地区全体のクラブの改めの理解と関心が必要であろう。

(5) 雑誌について

折角、立派な学友、奨学生の雑誌の創刊を見、既に4号までが上梓されている。これを継続する。

(6) 学友について

所謂OB諸君の何らかの形で結束を計り、地域社会に於けるアイデンティティを得るようにしたい。

以上申し述べたことは希望、反省等の羅列でもあるが、これらは以後も当然委員会の関心事であって然るべきであり課題行事である。

終りに坂本ガバナー、越山幹事、地区役員の方々、鎌田様、同僚の委員、諸氏に深甚なる謝意を表する。

(16) G. S. E. 委員会

委員長 小 林 博 (札幌北)

当初1988～1989年度に於てR.I.第510地区、第717地区及び第719地区との間で交換したい。就中札幌市の姉妹都市であるポーランドに近い第510地区の交換を考えていた。だが、諸般の事情から交渉はなかなか進まなかった。

偶々、石垣博美会員(札幌西)がオーストラリアの事情に詳わしく、更に多数の在オーストラリアのロータリアンと昵懇なので、同会員の渡豪を機会に根回しをしていただいた。

1988～1989年のR.I.会長ロイス・アビー氏がオーストラリアの出身ということも重なってとんとん拍子に話がまとまり、去る4月12日に第980地区(メルボルン周辺地区)との間で合意文書が交換された。

合意内容は、

1. 受け入れ 1989年9～10月(日本の秋)
2. 派遣 1990年3～4月(オーストラリアの秋)
3. 男子のみの交換チームとし、滞在期間はそれぞれ4～6週間とする。

以上数年ぶりの計画であり、誠に慶賀に堪えない。

(17) ポリオ・プラス委員会

今 井 道 雄 (札幌)

1. 寄付の概況

日本ポリオプラス委員会の5月31日現在の統計資料によって、寄付の概況をご報告します。

全国の寄付累計額 2,108,647,801円

当地区の寄付累計額 68,076,679円

順 位 全国28地区中 15位

既に目標額を達成したクラブは次の5 R C であります。

クラブ名 目標達成率

札幌 135 % 8,453,000円

北 広 島 119 % 1,097,480円

静 内 112 % 2,471,600円

札幌真駒内 105 % 2,118,272円

札幌北 102 % 4,047,903円

2. 全国各地ポリオ・プラス委員長会議への出席

西條正博委員(札幌)が、委員長に代って出席しました。

日 時 昭和62年9月22日(火)

自午前10時半 至午後4時半

場 所 東京ステーションホテル

募金の現況説明、各地区の募金方法の情報交換等がありました。詳細な報告書を作成して坂本ガバナーに提出した他、このコピーを関係者全員に差し上げてご参考に供しました。

3. 委員会の開催

日 時 昭和63年2月6日(土)

自午後12時半 至同3時

場 所 札幌グランドホテル17階旭の間
地区側から、坂本ガバナー、越山地区幹事、委員会側からは、佐藤貢、四ツ柳高茂、他、大方の委員が出席して、ポリオ・プラス月間に備えて、坂本ガバナーの募金方針を中心に意見を交換しました。

4. その他

ポリオ・プラス月間中、ポリオ・プラスに関する卓話を数クラブで行ない、各分区のIGFでは、分科会のリーダー等の役目を分担して協力しました。

(18)米山記念奨学会委員会

委員長 田 畑 武 夫（札幌南）

1. 本年度活動方針

要旨

- (1) 普通寄付金の増額
- (2) 特別寄付金の推進、特に法人の寄付に力を入れる。
- (3) あらゆる機会に本会の認識と理解を深めるよう努力する。

具体的方法

- (1) 普通寄付金は年額 3,000 円以上を目標とする。
- (2) 米山委員会未設置のクラブに対しては、その設置を促す。
- (3) クラブの記念事業等の際には当会への寄付を願う。
- (4) クラブ役員就任の記念として当会への寄付を願う。
- (5) 全国的な寄付の状況を会員に知らせ、日本のロータリアンの本会に対する関心度を理解していただく。

2. 本年度実施行事

- (1) 米山記念奨学会評議員会
8月25日 芝パークホテルにて開催
出席者 森松理事、大橋ガバナーノミニー、田畑委員長
- (2) 米山記念奨学会委員長会議
9月4日 芝パークホテルにて開催
出席者 田畑委員長
- (3) 地区米山委員会
9月21日 札幌市国際ホテルにて開催
出席者 森松定男理事、田畑委員長、爪 健夫、土谷茂樹、斉藤久名、藤井清各委員、横井 久副幹事
- (4) 米山月間行事
10月6日 札幌西クラブ、10月26日 札幌南クラブ、10月30日 札幌南クラブにて米山奨学会に就いて卓話を行った。（委員長）

(5) 米山奨学生懇談会

11月28日 札幌市 共済ホールにて開催
出席者 坂本ガバナー、森松奨学会理事、田畑委員長、土谷、藤井、斉藤各委員、横井副幹事、奨学生、奨学生の指導教官及クラブのカウンセラー多数出席。この席では坂本ガバナーの挨拶、森松理事の米山記念奨学会の説明があり、奨学生からは本会に対する希望などが述べられた。また指導教官、カウンセラーからも種々の発言があり、有意義な会合であった。

(6) 米山奨学生歓送会

3月16日 札幌市 パークホテルで開催
出席者 坂本ガバナー、森松理事、田畑委員長、土谷、斉藤、藤井各委員、奨学生及び指導教官、カウンセラー、横井副幹事。
88年3月に奨学金の支給を終る6名の奨学生に対する送別会もかねて催し種々懇談した。

(7) 米山奨学生選考会

3月19日 札幌市 パークホテルにて開催
出席者 森松理事、田畑委員長、土谷、斉藤、藤井各委員、半澤副幹事。
88年度奨学生の希望者10名に対し選考を行い、4名及び候補1名を選考した。

(8) 米山奨学生のオリエンテーション

5月18日 札幌市 パークホテルにて開催
出席者 森松理事、田畑委員長、斉藤、藤井各委員、半澤副幹事、奨学生及び奨学生のカウンセラー。

以上本年度の主な行事を列記した。当初に掲げた活動方針にそい行動したが、果してどの程度その目的を達し得たか不安である。本年度の寄付金の集計は本誌51, 52頁に掲載。

4. 青少年奉仕

(1) 青少年指導者育成研修セミナー

日 時 昭和63年6月12日(日)
9:30～15:00

場 所 札幌 サンプラザ
(札幌市北区北24条西5丁目)

出席者 地 区 13名
クラブ 39名
(次年度青少年奉仕担当者)
計 52名

講 師 北海道Y M C A 総主事
阪崎健治朗 氏
前札幌家庭裁判所主席調査官
現札幌家庭裁判所調停委員
本間 良信 氏

プログラム

9:30 …… 登 録

10:00 …… 開 会
開会の挨拶 坂本ガバナー

10:10 …… セミナーの要領について
越山地区幹事

…… 午前の部 ……

10:20 …… 講演及び質疑
講師 阪崎健治朗 氏
講師紹介 松村地区幹事

12:00 …… 午前の部終了……

昼 食 ・ 休 憩

…… 午後の部 ……

13:00 …… 講演及び質疑
講師 本間 良信 氏
講師紹介 越山地区幹事

15:00 …… 終 了……

閉会の挨拶
大橋ガバナーエレクト

講演要旨

……… 午 前 の 部 ……

講師 北海道Y M C A 総主事
阪崎健治朗 氏

テーマ 「青少年とボランティアズム」
～Y M C A の活動を通して～

I 現代青年論

1. 現代社会観
2. 青年の社会意識
3. 新人類と新々人類

II Y M C A の成立ちとその思想

1. 誰がはじめたか…創設の思想
2. 生涯を青年に…二人の人物から
3. Y M C A とはなにか

III 期待されている青年

1. 青年の心の内側にあるもの
2. 青年に何を期待するか
3. 青年にボランティアズムを

IV その他

……… 午 後 の 部 ……

講師 前札幌家庭裁判所主席調査官
現札幌家庭裁判所調停委員

本間 良信 氏

テーマ 「青少年の健全育成と地域社会との
関わりについて」

I 非行少年に対する現行の手続き

II 最近の少年非行の特徴について 事例紹介

- 親と少年に問題が
- 環境に問題が
- 少年の資質や情緒に問題が

III 家庭・親の在り方について

IV 学校のかかわりについて

V 地域社会として考えることは

(2)インターアクト

(a)年次大会

開催月日 1986年10月31日(土)～
11月1日(日)

開催地 札幌市
会場 ホテル札幌会館
ホストクラブ 北海高等学校 I A C
コ・ホストクラブ 札幌東 R C
参加者数 インターアクト 64名
顧問教師 8名
ロータリアン 8名
ホストクラブ・ロータリアン 20名
計 100名

(b)1日研修会

開催月日 1987年6月26日(日)
開催地 札幌市
会場 札幌第一高等学校
ホストクラブ 札幌第一高等学校 I A C
コ・ホストクラブ 札幌 R C

(c)地区内インターアクトクラブ状況(1987年4月末現在)

7クラブ 84人

インターアクトクラブ	スポンサークラブ	発会日	会員数	事務所	住所	日	例会時間	例会場	会長	幹事
室蘭大谷高校	室蘭東	1965. 5. 7	9	〒060 室蘭市高平町133-2		金	2:15	部室	東條美和子	加々見 丞
札幌商業高校	札幌幌南	1966. 6.20	4	〒062 札幌市豊平区旭町4-1-42		水	3:15	図書室	菊池俊樹	渡辺大真
函館フ・サール高校	函館五稜郭	1966.11.12	17	〒041 函館市日吉町1-12-1		不定	不定	社会科教室	星川和輝	岩田達也
希望学園札幌第一高校	札幌幌	1966.11.15	14	〒062 札幌市豊平区月寒西1条9丁目10-15		水	3:30	部室	渡辺登志喜	佐々木洋和
駒沢大附属岩見沢高校	岩見沢	1967. 2.11	8	〒068 岩見沢市緑が丘5-102		第1・3水	4:00	校内	斉藤久代	早川貴子
北海高校	札幌東	1971. 6. 5	16	〒062 札幌市豊平区旭町4-1-41		第1月	2:30	教室	原 健悟	若山義幸
登別大谷高校	登別	1979. 6.29	16	〒059 登別市桜木町2-1		木	2:30	校内	工藤京子	葛西知美

地区代表：原 健吾(北海高校 I A C)

(3)ローターアクト

(a)年次大会

開催月日 1987年10月24日(土)～
25日(日)

開催地 札幌市

会場 ホテルアカシア

ホストクラブ 札幌大学RAC

コ・ホストクラブ 札幌幌南RC

大会テーマ 「つくろう我らの新時代、
新人類アクトよ翔け、」

参加者 来賓 11名

ローターアクター

地区内 97名

地区外 20名

ロータリアン

地区内 112名

地区外 1名

計 241名

(b)R.I.第258地区東京・沖縄研修旅行

日程 1988年1月10日(日)～
15日(金) 4泊5日

団長 大橋一夫(赤平RAC)

副団長 盛泉聡子(室蘭RAC)

ローターアクター 20名

ロータリアン 1名

計 21名

(c)R.I.アジア第1、第3ゾーンローターアクト研修会

開催月日 1988年3月12日(土)～
13日(日)

開催地 京都市

会場 京都ホテル、京都銀行協会
会館

参加者 宮澤 正(地区RA委員長)
常盤美恵子(RA地区代表)
岡田浩平(次期RA地区代表)

(d)地区協議会

開催月日 1988年5月22日(日)

開催地 札幌市

会場 きょうさいサロン

ホストクラブ 札幌北RAC

コ・ホストクラブ 札幌北RC

(e)新クラブの設立

地区内第15番目のローターアクトクラブ
として、千歳RACが設立された。

名称 千歳RAC

提唱RC 千歳RC

結成年月日 1988年6月11日

チャーターメンバー 16名

承認書伝達式 1988年6月11日(土)
レストラン西洋軒にて

初代会長 伊藤嘉浩

初代幹事 五十嵐桂一

尚、クラブ設立に当たり特に貢献いた
いた千歳RC高慶繁博、末広 孝両会員に
ガバナーより感謝状が贈られた。

(f)地区内ローターアクトクラブ状況(1987年7月末現在)

14クラブ 187人

地区代表：常盤美恵子(北海道大学RAC)

ローターアクト クラブ	スポンサー クラブ	発会日	会員数	事務所住所	例会日	開会時間	例会場	会長	幹事
岩見沢	岩見沢	1968. 7. 1	5	T068 岩見沢市緑が丘5-102 駒沢大学北海道教養部内	月・水	月12:00 水 3:00	学内	山田 明	—
北海道拓殖短大	深 川	1970. 5.30	13	T078-01 深川市納内町338 北海道拓殖短期大学内	第1・3水	7:00	納内町 コミュニティーセンター	柴田 敦	村田洋幸
函館大学	函館東	1971. 1.27	11	T042 函館市高丘町142 函館大学学友会文化局	月	12:30	学内	添田浩明	福井啓樹
文化女子大学 室蘭短大	室蘭北	1971.11.26	14	T050 室蘭市高砂町3-11-50文化女子大学室蘭短期大学内	第4金	2:00	学内	寺沢奈美	丸山志乃
室 蘭	室 蘭	1972. 3.21	11	T051 室蘭市海岸町1-58 室蘭海陸通運機気付	火	6:30	室蘭プリンスホテル	榊 敏行	三浦幸子
札幌西	札幌西	1972. 6.27	12	T060 札幌市中央区北2西4北海道ビル507号室 札幌西RC	第1・3火	7:00	共済サロン	斉藤敏文	森 康一
留 萌	留 萌	1973. 4. 1	18	T077 留萌市開運町1丁目 ホテルカクセン気付	第2・4火	7:00	ホテルカクセン	松本衆司	多屋由美子
伊 達	伊 達	1973.11.27	14	T052 伊達市末永町33-3 ローヤル内 伊達RC	第1・3金	7:00	ローヤル	大石恭之	伝田美智子
札幌大学	札幌幌南	1974. 6.21	20	T062 札幌市中央区北2西4北海道ビル507号室 札幌幌南RC	木	12:20	学内第3サークル会館	常盤美恵子	川畑智子
函 館	函 館	1976. 4.29	8	T040 函館市美原2-39-14 長招智子方	第1・3水	7:00	五島軒本店	中澤 英樹	長沼智子
赤 平	赤 平	1976. 5.20	11	T079-11 赤平市東文京町3-2 中西智彦方	第1・3木	7:00	赤平市勤労青少年ホール	大橋一夫	中西智彦
岩 内	岩 内	1977. 3. 3	11	T045 北海道岩内郡岩内町字宮園62-2 丸井宣仁方	第2・4水	7:30	朝日生命ビル3階	丸井宣仁	澤口美保子
函館北部	函館北	1978. 6.15	22	T040 函館市亀田町6-38 森時計店気付	第1・3火	7:00	函館国際ホテル	岡田浩平	中島久雄
札幌北	札幌北	1978.12.11	17	T060 札幌市中央区北2西4北海道ビル507号室 札幌北RC	第1・3金	7:00	共済サロン	坂本幸嗣	内海範仁

<注> 1988年6月11日、千歳RACが設立され、地区内RAC数は15となった。初代会長：伊藤嘉浩、幹事：五十嵐桂一

5. 国際奉仕

(1)地区内クラブの海外姉妹提携状況

第1分区	深 川	姉妹クラブ	韓国、南海RC（D366）
	留 萌	姉妹クラブ	韓国、論山RC（D368）
第2分区	砂 川		アメリカ、エヤーRC（D791）との友好を維持する
	滝 川		アルゼンチン、ロザリオRC（D488）、ベルグラノーRC（D489）と夫々友好文通中
	”		オーストラリア、ギルガードラRC、ブロックウッドRCと文通継続
第3分区	江 別		アメリカ、グレシャムRC（D510）と交流
第4分区	札幌西	姉妹クラブ	フィリピン、西ダバオRC（D386）
	”	”	フィリピン、マカティ西RC（D381）
	”	”	アメリカ、ユチカRC（D715）
第5分区	札幌東	姉妹クラブ	アメリカ、北ポートランドRC（D510）
第6分区	岩 内	姉妹クラブ	アメリカ、ピーターズバーグRC（D503）
第7分区	千 歳		千歳市の姉妹都市であるアメリカ、アンカレッジRC（D503）と提携を検討中
	恵 庭		台湾、永和RC（D345）と姉妹締結交渉中
	白 老	姉妹クラブ	カナダ、ケネルRC（D504）と1980年に締結
第8分区	浦 河	姉妹クラブ	韓国、平沢RC（D369）、台湾、中 RC（D345）と姉妹クラブを締結
第9分区	伊 達		スウェーデン、ピテオRC（D232）と交渉中
	室蘭北		文通による交流を計画
第10分区	函 館	姉妹クラブ	台湾、澎湖RC（D346）との交流を一層深めたい。
第11分区	函館東	友好クラブ	韓国、ソウル汝矣島RC（D365）
	函館北	友好クラブ	台湾、台北東北RC（D345）

(2)海外地区との姉妹提携状況



(3)青少年交換学生

オーストラリア関係交換学生（1987～88年度）

受け入れ学生氏名	スポンサー地区	ホストスクール	派遣学生氏名	ホストクラブ スポンサークラブ
Rachel Walker	965	札幌北高校	佐藤恒太郎	札幌北
Fejice Osborne	952	札幌西陵高校	山本律子	札幌手稲
Linda Ann Wilson	950	小樽潮陵高校	神田康子	小樽
Catherine Faulks	971	函館遺愛女子高校	堺谷陽子	函館東
Warwick Matthews	980	札幌光星高校	田所光博	札幌幌南
Kylie Burke	964	大谷女子高校	村上雄一	恵庭
Kenneth Fowlie	975	札幌新川高校	中田英伸	札幌

オーストラリア関係交換学生（1988～89年度）

受け入れ学生氏名	スポンサー地区	ホストスクール	派遣学生氏名	ホストクラブ スポンサークラブ
Yvette Childs	950	札幌藻岩高校	村上小夜	札幌西
Tracey Mythen	952	札幌西陵高校	金子基	札幌手稲
Catherine Davis	965	札幌北高校	近藤麻友	札幌北
Vikki Sturt	971	函館白百合高校	寺田恭子	函館
Alison Castle	975	札幌平岸高校	長沢紀子	札幌東
Karen Shepherd	964	恵庭北高校	今井美香	恵庭
Vicki Pheiffer	980	北星学園高校	名雲利佳子	札幌南

アメリカ関係交換学生（1987～88年度）

受け入れ学生氏名	スポンサー地区	ホストスクール	ホストクラブ	派遣学生氏名	ホスト地区	スポンサークラブ
Ken Calhoon	510	北海高校	札幌東	福田了子	510	札幌南
Heathe Lynn Matheny	510	滝川西高校	滝川	柳禎子	510	滝川
Rebecca Lyn Hosmer	715	札幌旭ヶ丘高校	札幌南	神谷信廣	715	札幌東
Carolyn Marie Edwards	717	札幌稲雲高校	札幌手稲	菅原慎一	717	札幌手稲

カナダ関係交換学生（1987～88年度）

受け入れ学生氏名	スポンサー地区	ホストスクール	派遣学生氏名	ホストクラブ スポンサークラブ
Maria Elaine Wild	536	札幌東高校	細川雅和	札幌東

(4)災 害 見 舞

1987～88年度中に、R I 本部又は日本支局より次の各災害の被害状況の知らせを受けた。当地区としては、これを随時各号のガバナー月信に掲載し、各クラブ、各個人のできる範囲で救援資金・物資の寄付方を依頼した。

国 名	R.I.地区	通知年月	災害の種類	災 害 の 内 容
ブラジル	D 465	1987. 8	暴 風 雨	・インビチュバ・ガロパバ・イマルイ・ラブナ各都市に大きな被害
韓 国	D368・369	1987. 8	集 中 豪 雨	・死者 300 人・行方不明 200 人・住居喪失者 6 万人
バングラデシュ	D 328	1987. 8	台 風	・死者 100 人・住居喪失者数万人 ・100 万エーカーの地域の農作物に被害 ・10万頭の牛が死亡
ベネズエラ	D 437	1987. 9	洪 水	・ル・リモン、オキュマレとデ・ラ・コスタ地域が破壊
チ リ	D 432	1987. 9	洪水・大雪	・20万人が被害・住居喪失者多数
フィリピン	D 382	1987.10	台 風	・住居喪失者 6 万人 ・農作物に甚大な被害
イ ン ド	D 325	1987.10	台 風	・住居喪失者千万人 ・農作地・農作物に甚大な被害
ア メ リ カ	カリフォルニア南部	1987.10	地 震	・住居喪失者 2 万 2 千人
イ ン ド	東部及び北東部	1987.10	日 照 り 洪 水	・1,500 万人が避難 ・農作物・家屋に甚大な被害
南アフリカ	D 927	1987.10	集 中 豪 雨	・死者 100 人・20万人が避難 ・農作物・家屋に甚大な被害
パキスタン	D 327	1987.12	大 洪 水	・住居喪失者 5 千人 ・家屋・農作地に甚大な被害
コロンビア	D 428	1987.12	地 崩 れ	・住居喪失者数万人
フィリピン	D 382	1987.12	台 風	・住居喪失者 8 万千人・死者数百人 ・農作物・家屋に甚大な被害
ブラジル	D 457	1988. 3	集 中 豪 雨	・死者 250 人・負傷者千人・住居喪失者 2 万 5 千人
南アフリカ	D 932	1988. 3	集 中 豪 雨	・死者多数・1 万人が避難 ・農作物・家屋に甚大な被害
アルゼンチン	D 485	1988. 3	集 中 豪 雨	・死者を出す・5 万人が避難 ・家屋に甚大な被害
ボツワナ	D 921	1988. 4	大 洪 水	・死者多数・避難者多数 ・家屋に甚大な被害
チュニジア	D 901	1988. 6	イナゴの大群	・農作物に甚大な被害

6. ロータリー財団

(1)財団への年間寄付一覧表

1988.6.30現在

CLUB NUMBER NAME	MBRS 12/86	NON RESTRICTED + (REWARD UNIT) + +	RESTRICTED + +	POLIO PLUS + +	OTHER + +	TOTAL + YEAR TO DATE DOLLARS
		MONTH	YEAR	MONTH	YEAR	
013555 AKABIRA	50	20.00	1,118.56	2,703.13	5,393.27	6,511.83
013556 ASHIBETSU	57	10.00	3,960.11	1,929.69	3,910.27	7,870.38
013557 B I B A I	45	.00	56.00	.00	4,977.08	5,033.08
013558 CHITOSE	95	.00	2,610.00	811.80	8,755.85	11,365.85
013559 DATE	62	.00	1,113.00	9,703.13	12,564.30	13,677.30
013560 EBETSU	83	10.00	1,499.00	1,359.38	19,798.78	21,297.78
013561 ENIWA	42	1,131.71	1,944.01	2,031.25	3,412.50	5,356.51
013562 ERIMO	24	.00	23.00	929.69	1,549.16	1,572.16
013563 ESASHI	28	.00	31.00	1,087.50	4,477.46	4,508.46
013564 FUKAGAWA	72	440.78	2,944.72	1,093.75	6,297.80	9,242.52
013565 HABORO	44	.00	43.00	3,370.32	3,370.32	3,413.32
013566 HAKODATE	126	.00	229.00	4,966.41	9,871.66	10,100.66
013567 HAKODATE-EAST	79	.00	315.99	2,546.88	4,673.64	4,989.63
013568 HAKODATE-GORYOKAKU	61	.00	115.22	1,648.44	2,479.43	2,594.65
013569 HAKODATE-KAMEDA	49	.00	89.00	900.00	4,211.92	4,300.92
013570 HAKODATE-NORTH	65	.00	152.00	1,531.59	5,547.08	5,699.08
013571 IWAMIZAWA	87	760.00	4,503.43	125.00	6,202.70	10,706.13
013572 IWANAI	56	.00	582.73	1,687.50	1,687.50	2,270.23
013573 KITAHIROSHIMA	25	.00	62.00	390.63	6,978.43	7,040.43
013574 KURISAWA	46	20.00	97.00	1,337.50	3,194.43	3,291.43
013575 KURIYAMA	57	20.00	123.00	1,991.64	9,155.77	9,278.77
013576 KUTCHAN	43	328.13	370.13	140.63	1,140.63	1,510.76
013577 MATSUMAE	13	.00	6.53	250.01	250.01	256.54
013578 MITSUISHI	19	.00	41.00	.00	1,000.00	1,041.00
013579 MORI	32	1,000.00	1,032.00	1,093.75	1,093.75	2,125.75
013580 MOSEUSHI	18	.00	9.47	593.75	593.75	603.22
013581 MURORAN	101	2,500.94	2,642.94	3,662.50	7,158.90	9,801.84
013582 MURORAN-EAST	69	.00	73.00	2,500.00	3,600.00	3,673.00
013583 MURORAN-NORTH	57	.00	181.00	2,328.13	2,328.13	2,509.13
013584 NANA E	30	.00	107.29	.00	.00	107.29
013585 NOBORIBETSU	48	.00	58.00	750.00	1,500.00	1,558.00
013586 OBIRA	10	.00	110.00	390.63	740.50	850.50
013587 OSHAMANBE	27	.00	2,021.53	3,000.00	3,131.25	5,152.78
013588 OTARU	108	343.84	611.84	7,397.04	12,476.64	13,088.48
013589 OTARU-SOUTH	81	20.00	129.00	.00	2,200.00	2,329.00
013590 OTARU ZENIBAKO	20	.00	29.53	1,533.65	1,533.65	1,563.18
013591 RANKOSHI	23	.00	150.06	1,617.19	1,617.19	1,767.25
013592 RUMOI	111	.00	1,674.00	.00	13,595.37	15,269.37
013593 SAMANI	36	.00	478.56	7,187.50	9,187.50	9,666.06
013594 SAPPORO	165	1,120.00	6,495.42	33,203.13	54,719.54	62,758.95
013595 SAPPORO EAST	143	280.00	8,686.93	2,287.50	13,586.46	22,273.39
013596 SAPPORO-KONAN	100	.00	4,124.63	6,715.63	9,470.10	13,594.73
013597 SAPPORO-MAKOMANA I	48	20.00	1,285.77	2,065.07	15,018.29	16,304.06
013598 SAPPORO-NORTH	99	.00	159.50	4,312.50	16,793.64	17,516.52
013599 SAPPORO SEIHOKU	51	.00	2,056.26	70.32	4,681.74	6,738.00
013600 SAPPORO-SOUTH	135	135.53	3,039.53	12,859.38	17,880.75	20,920.28
013601 SAPPORO-TEINE	67	1,701.19	7,274.13	13,297.53	16,898.88	24,173.01
013602 SAPPORO WEST	137	1,105.00	7,317.47	210.94	13,003.26	20,320.73
013603 SHIRAOI	29	.00	68.00	859.38	3,689.99	3,757.99
013604 SHIZUNAI	53	.00	67.00	7,546.88	18,746.88	18,813.88
013605 SUNAGAWA	60	577.90	2,478.45	312.50	3,980.35	6,458.80
013606 TAKIKAWA	89	50.00	169.00	2,259.38	21,572.71	21,741.71
013607 TOBETSU	36	.00	1,073.69	.00	2,154.25	3,227.94
013608 TOMAKOMA I	83	1,792.91	3,536.23	678.13	10,399.84	13,936.07
013609 TOMAKOMA I-NORTH	63	41.25	1,578.44	2,238.16	4,841.12	6,419.56
013610 TOYAKO	18	5.31	30.18	140.63	1,654.20	1,684.38
013611 URAKAWA	50	48.00	761.00	1,562.50	2,562.50	3,323.50
013612 YOICHI	46	.00	731.92	187.50	849.37	1,581.29
021118 IWAMIZAWA EAST	36	30.00	987.00	796.88	796.88	1,783.88
021985 SHIN-SAPPORO	43	1,145.50	2,668.50	2,023.44	3,170.11	5,838.61
904251 DISTRICT CONTRIBUTIONS	0	.00	.00	93.75	383.03	383.03
DISTRICT TOTALS	3,651	14,657.99	85,926.70	168,311.14	428,510.51	516,544.58

1986-87 CONTRIBUTION CARRYOVER 13,105.32

THIS REPORT INCLUDES ALL CONTRIBUTIONS, FISCAL AGENT REPORTS AND BANK STATEMENT INFORMATION RECEIVED AND CREDITED AT THE CENTRAL OFFICE THROUGH 30 JUNE 1988. IT DOES NOT REFLECT POLIOPUS CONTRIBUTIONS THAT ARE PENDING TRANSMITTAL FROM NATIONAL/MULTINATIONAL POLIOPUS CAMPAIGN COMMITTEES.

(2)ポリオ・プラス寄付一覧表

1988. 6. 30 現在 (単位: 円)

ク ラ ブ 名	果 計	今 期 目 標 額	%	最 終 目 標 額	%
(地 区)	51,000	0		0	
赤 平	934,000	628,000	149	1,940,000	48
芦 別	879,600	706,000	125	2,180,000	40
美 唄	1,229,360	582,000	211	1,760,000	70
千 歳	1,445,111	1,272,000	114	3,860,000	37
伊 達	1,885,600	815,000	231	2,500,000	75
江 別	2,866,500	1,047,000	274	3,260,000	88
恵 庭	614,000	569,000	108	1,720,000	36
え り も	299,000	299,000	100	920,000	33
江 差	577,700	391,000	148	1,180,000	49
深 川	920,000	914,000	101	2,820,000	33
羽 幌	603,400	551,000	110	1,680,000	36
函 館	1,812,600	1,547,000	117	4,760,000	38
函 館 五 稜	583,400	759,000	77	2,320,000	25
函 館 東	1,239,600	916,000	135	2,880,000	43
函 館 亀 田	652,300	633,000	103	1,940,000	34
函 館 北	1,002,943	806,000	124	2,480,000	40
岩 見 沢	1,298,400	1,102,000	118	3,360,000	39
岩 沢 東	250,800	461,000	54	1,380,000	18
岩 内	440,000	702,000	63	2,160,000	20
北 島	1,097,480	294,000	373	920,000	119
栗 沢	607,000	607,000	100	1,860,000	33
栗 山	1,481,730	705,000	210	2,200,000	67
知 安	404,000	538,000	75	1,640,000	25
松 前	32,000	156,000	21	480,000	7
三 石	295,000	265,000	111	800,000	37
森 牛	268,000	416,000	64	1,280,000	21
背 蘭	178,200	242,000	74	760,000	23
妹 室	1,314,000	1,314,000	100	4,020,000	33
室 東	813,400	827,000	98	2,560,000	32
室 北	542,000	777,000	70	2,360,000	23
七 飯	274,400	416,000	66	1,280,000	21
登 別	292,000	620,000	47	1,900,000	15
小 平	142,400	130,000	110	400,000	36
長 万	644,800	310,000	208	1,000,000	64
小 樽	1,738,178	1,392,000	125	4,260,000	41
小 樽 南	1,356,600	1,019,000	133	3,120,000	43
小 樽 銭	440,307	251,000	175	780,000	56
蘭 越	303,000	303,000	100	940,000	32
留 萌	2,357,007	1,432,000	165	4,360,000	54
様 似	1,342,000	473,000	284	1,440,000	93
札 幌	8,581,000	2,033,000	422	6,240,000	138
札 幌 東	2,582,000	1,841,000	140	5,680,000	45
札 幌 北	4,047,903	1,296,000	312	3,980,000	102
札 幌 南	1,742,800	1,291,000	135	3,980,000	44
札 幌 真 駒	2,322,729	669,000	347	2,020,000	115
札 幌 南	2,897,000	1,757,000	165	5,360,000	54
札 幌 西	2,437,700	1,774,000	137	5,420,000	45
札 幌 北	911,650	677,000	135	2,060,000	44
札 幌 手	2,352,995	894,000	263	2,720,000	87
新 札 幌	607,000	547,000	111	1,660,000	37
白 老	623,600	364,000	171	1,120,000	56
静 内	2,715,600	725,000	375	2,200,000	123
砂 川	861,378	824,000	105	2,520,000	34
滝 川	3,162,200	1,170,000	270	3,600,000	88
苫 小 牧	1,919,900	1,032,000	186	3,160,000	61
苫 小 牧 北	1,380,635	890,000	155	2,700,000	51
当 洞 爺	589,800	477,000	124	1,460,000	40
浦 河	233,000	220,000	106	700,000	33
余 市	1,275,000	615,000	207	1,900,000	67
計	500,000	602,000	83	1,860,000	27
計	77,252,706	46,885,000	165	143,800,000	54

(3)マルティプル・フェロー (45名)

赤	平	相馬	寛	3月1日	札幌東	早崎	弘晃	3月2日
滝	川	熊本	博一	7月8日		白崎	繁仁	" 31日
		菅原	剛太郎	" 10日	札幌幌南	岩本	貢	2月19日
		武田	邦彦	8月22日	札幌真駒内	高橋	健一	7月15日
		鈴木	忠男	"		留目	正	"
		神部	洋史	"		片原	豊吉	" 22日
		芳村	和夫	" 28日		藤本	善吉	" 24日
		戸井	康堯	"		吉村	洋吉	" 30日
		柳	義文	"		森永	忠輔	10月15日
		林	博幸	" 31日		林下	忠雄	12月9日
岩見沢		望月	武義	7月24日		中村	正夫	6月16日
		河瀬	登	"	札幌南	横地	棟器	7月25日
		西川	昇	" 31日	三石	谷川	襄	" 27日
当別		岡田	泰紀	8月25日	静内	藤原	真二	12月9日
札幌		坂本	忠	7月8日		細川	好弘	"
		伊藤寿美子(伊藤会員夫人)		" 22日		中島	滋	"
		坂本	忠	3月30日		落合	敏博	"
		伊藤	義郎	4月14日		土屋	喜一	"
札幌北		宮澤	正	7月9日		賀集	健三	" 23日
		谷口	良一	" 29日	函館	田中	修市	7月9日
		毛利	喜八	5月10日	江差	沖館	純吉	2月29日
札幌西		塩谷	猛	8月4日		今川	徳郎	"
		米沢	悟空翁	"				

(4)ポール・ハリス・フェロー (162名)

深	川	宮内	廣三	8月26日	砂川	大谷	春男	7月29日
		後藤	田隆雄	" 28日		山澤	芳夫	8月5日
留	萌	川合	正修	12月20日		西川	俣是	4月13日
		大桶	修一	"		沖中	馨	6月16日
		本間	敬吾	"	滝川	中谷	幸司	7月8日
		野尻	豊吉	"		林	博幸	" 22日
赤	平	渡辺	芳己	7月31日		藤川	宣男	"
		相馬若子(相馬会員夫人)		3月1日		吉田	正治	8月22日
芦別		吉村	外茂二	7月16日		広部	正夫	"
		依本	蕃	3月11日		太田	光彦	" 28日

滝川	今野陽一	8月28日	札幌北	小田島寿清	7月28日		
	笹木和幸	〃 31日		都留美都雄	1月8日		
	中田翼	10月23日		西村佳洋	2月9日		
	篠島弘	2月10日		札幌西	岡崎庚午	7月22日	
	広部皓三	〃		石王二久	〃		
	栗野明	3月25日		倭昭三	〃		
	和作康市	5月2日		上井鉄造	〃		
	美唄	加藤一郎		8月20日	伊藤千秋	9月24日	
		中込茂		〃 31日	札幌西北	菅原孝悦	8月21日
		東野碧		〃	札幌手稲	吹田穰	7月27日
江別	毛利清徳	〃		鈴木義雄	〃		
	及川慶儀	8月27日		佐藤百合男	2月24日		
	北野保夫	〃		金子隆	3月1日		
	八島壮之	〃		栗津健太郎	3月9日		
	西照夫	〃	札幌東	大場二郎	7月23日		
	新田威	〃		坂東宗一	〃		
	八田頼政	〃		斉藤譲一	〃		
	岩見沢	山崎一夫	3月3日		野坂八郎	8月6日	
		山崎稔	8月24日		後藤靖	〃	
		岩見沢東栗山	竹山俊男	7月20日		梁川修	〃
高林茂保			7月15日		長田正一	2月4日	
塩見悦次	8月27日			小田切房之	3月31日		
松下留雄	〃		札幌幌南	木村利彦	8月10日		
落合廣	3月4日	角掛晴雄		〃 29日			
当別	古野廣子(古野会員夫人)	〃 4日		金野茂	〃		
	千葉一男	7月16日		高島英寿	〃 31日		
	坂本文恵(坂本忠会員夫人)	〃 8日		広田紀昭	2月19日		
	池上公介(坂本忠会員夫人紹介)非ロータリアン	〃	札幌真駒内	白石正勝	7月15日		
	内野治泰	7月15日		上田正佳	8月27日		
	浅野国夫	8月5日		里見健次	12月9日		
	山中善夫	〃 20日		佐々木敦	3月3日		
	中山博道	10月15日	札幌南	沢田直俊	7月21日		
	森鼻武芳	2月18日		横地棟器	〃 25日		
	札幌北	越山司	3月30日		市川隆	5月7日	
北浜正治		〃		森松千代(森松会員夫人)	〃 24日		
西條久子(西条会員夫人)		〃	倶知安	千秋薫	9月8日		
宮澤邦子(宮沢会員夫人)		7月9日		小樽	坂口栄之助	3月11日	
岡島憲吾		〃 22日		青木真一郎	6月22日		
北村博稔		〃 28日		高橋廣安	〃		

小	樽	柳澤	昭吉	6月22日	静	内	吉田	隆	2月10日	
		川村	治男	〃			小坂	政成	〃	
小	樽	南	渡辺	雅敏	8月22日		長浜	和也	〃	
		北	直幸	12月16日			佐藤	雅裕	〃	
千	歳	喜多	清皓	7月29日			能藤	一成	〃	
		長沢	邦雄	〃 31日	浦	河	三上	政義	8月4日	
恵	庭	青木	定雄	5月31日			小野	正也	〃	
北	広	島	加藤	寛治	7月10日		斎藤	末雄	〃	
		竹内	実	〃	伊	達	藤本	旭	7月31日	
		宮崎	真	〃			上条	資喜	3月5日	
		福田	志朗	〃			幾世橋	幹	4月30日	
		坂田	義和	〃 17日			平口	泰敏	6月30日	
		雀地	修司	10月5日			木村	定吉	〃	
白	老	山川	力男	8月12日	室	蘭	村岡	詳弘	2月3日	
		伊東	稔	〃 31日			小林	嘉兵衛	〃 4日	
苦	小	牧	須飼	康綱	7月6日		佐藤	房吉	5月18日	
		横山	幸司	〃 14日	室	蘭	三戸部	正朝	7月8日	
		松崎	徳一	〃	函	館	大	総一郎	8月21日	
		安藤	芳男	〃			梅津	佐助	〃	
		川田	憲秀	〃			中島	敏幸	4月7日	
		加藤	悟	〃 27日	函	館	亀田	田中	仁	7月21日
		横田	稔	10月2日			加賀谷	喜一	3月1日	
苦	小	牧	伊藤	長英	8月6日		坂本	幸市	6月21日	
		藤田	健夫	〃 28日	森		倉地	孝男	〃 28日	
様	似	工藤	正	7月31日	長	万	部	鈴木	繁	3月3日
		笹嶋	正	8月4日			北川	武雄	〃	
		盛	外茂治	4月30日	江	差	棚田	清	2月29日	
		島田	政勝	〃	函	館	東	広田	敏夫	7月8日
		本郷	栄一	〃			斎藤	誠太郎	6月1日	
		神田	芳男	〃	函	館	北	斉藤	紀一	8月27日
		伊藤	繁樹	5月19日			石上	伊佐男	2月1日	
		南	正	〃			川村	昭夫	3月10日	

(5)ポール・ハリス・準フェロー（新）（97名）

羽	幌	不破	守信	6月30日	留	萌	野崎	佳正	12月20日
		黒田	力雄	"			鈴木	隆雄	"
		前田	晴市	"			石川	登喜雄	"
留	萌	松原	照雄	12月20日			東	一俊	"

留	萌	山下 幸人	12月20日	美	唄	山下 孝寿	8月31日
		西田 剛正	"			吉村 誠治	"
		高田 潔	"			金田 徳也	12月20日
		岩崎 文男	"	江	別	大桃 栄祐	8月27日
		杉本 寛	"	岩	見 沢	高橋 幸夫	7月31日
		山下 真	"			大崎 饒	"
		吉田 清治	"			近江 昭人	8月14日
		森 健二郎	"			岡本 等	"
		斉藤 清蔵	"			原 保昌	" 24日
		関野 政人	"			仁志 紘一	" 28日
		沢田 茂	"			橋本 猛	10月2日
		永谷 响士	"			本間 純	2月22日
		前田 勇	"			吉本 嘉勝	3月25日
		藤田 忠	"	札幌	手稲	福井 正佳	7月6日
		岡谷 善和	"			畠 和則	2月29日
		武田 謙二	"	札幌	東	樋爪 稔	8月27日
		島田 勇	"			有馬 純	9月10日
		北島 賢司	"			白崎 邦彦	3月31日
		宮田 侑善	"	札幌	幌南	広田 紀昭	2月19日
		高橋 範博	"	札幌	真駒内	戸田実津男	4月21日
		伊藤 信男	"	札幌	南	反橋 宏	4月5日
		児玉 弘	"			尾山洋太郎	5月7日
		原田 丈三	"			助貞 英一	"
		高田 利雄	"			高谷百合子(高谷会員夫人)	"
		阿部 昌博	"	新	札幌	綱木 秀松	7月7日
		鈴木 康伸	"	千	歳	山田 睦男	8月24日
		鈴木 邦夫	"			早坂 義人	11月12日
		谷口 光美	"			八杉 一博	1月25日
		小枝勇太郎	"			伊藤 常正	"
		大津 秀夫	"			木村 勝也	"
		上野 良昭	"			島田 実	"
		松岡 寛俊	" 22日			吉田 英俊	"
砂	川	杉浦 孝之	6月1日			小笠原 良	"
滝	川	畠 俊雄	7月22日			坂井 是樹	"
		山田 敏夫	8月28日			文屋 文稔	"
		和作 康市	"			小川 岩雄	"
		山本 勝	"	恵	庭	青木 定雄	10月26日
		平野 和夫	11月19日			弘中 正利	"
美	唄	高橋 稔	8月31日			三上 春吉	"

静内	蚊野好美	2月10日	室蘭東	前田康博	6月2日
室蘭東	西 潔	3月16日		村木 一夫	" 30日
	鈴木久雄	4月13日	函 館	渡辺恒三郎	4月28日
	一戸 豊信	"	函 館 東	斎藤誠太郎	4月19日
	立木 正美	"	函 館 北	三本木 元	8月7日
	黒田 芝雄	6月2日			

(6)メモリアル・コントリビューター

留 萌	石 川 健 治	(御母堂なか殿を追悼して)	12月20日
	本 間 敬 吾	(御母堂サクヨ殿を追悼して)	"
	香 城 芳 麿	(御母堂みどり殿を追悼して)	"
札 幌	岡 部 卓 司	(御尊父式二氏を追悼して)	3月9日
札 幌 北	前 田 一 人	(御尊父治氏を追悼して)	3月15日
札幌 幌南	中 村 文 子	(御主人誠一郎氏を追悼して)	2月19日
小 樽	小 川 シ ズ	(御主人宏一氏を追悼して)	10月14日
	今 井 房 子	(御主人寛氏を追悼して)	3月7日

(7)ロータリー財団寄付 (ロータリアン以外)

札幌真駒内 留 目 佳 子 (留目会員夫人) 2月3日

(8)ポリオ・プラス個人寄付

札 幌	坂本 忠	2月4日	札 幌 西	塩谷 猛	5月17日
	佐藤 貢	3月3日	札 幌 南	伊藤 孝	5月7日
	伊藤 義郎	4月14日		梅野弥太郎	6月9日
小 樽	竹内 恒之(札幌RC扱)	"			

(9)ポリオ・プラス個人寄付 (ロータリアン以外)

札幌RC扱い

横江日砂子(坂本忠会員夫人の友人)	2月4日	北 和子(坂本忠会員夫人の友人)	2月4日
大坪 孝史	"	宮野 敬	"
入山 禄郎	"	宮野 節子	"
大野 茂夫	"	高橋 成嘉	"
中島 好夫	"	小谷 俊一	"
佐々木信郎	"	川瀬 啓靖	"
北 和男	"	田島 邦好	"

佐藤 英子 (坂本忠会員夫人の友人)	2月4日	坂本 憲司 (坂本忠会員夫人の友人)	2月4日
佐藤 秀行	"	坂本 耕造	"
小林 六郎	"	山田 俊子	3月30日
坂本 美代	"	岡本ミチエ	"
加藤 幸子	"	佐久間和子 (故佐久間会員夫人)	"
宮澤 秀夫	"	三沢千鶴子 (坂本忠会員夫人の友人)	5月12日

(10) ポリオ・プラス協力法人 (79法人)

江 別	協和 (野村会員事務所)	2月18日
	協和土建 (野村会員事務所)	"
	王子製紙江別工場 (度会会員事業所)	"
	石狩川江別ゴルフ場 (西会員事業所)	"
	丸二今井金物店 (吉田会員事業所)	"
栗 山	空知日石株式会社 (落合会員事業所)	6月15日
札 幌	宮澤鋼業株式会社 (非ロータリアン、坂本幸丸氏事業所)	7月8日
	宮澤不動産株式会社 (坂本忠会員事業所)	"
	株式会社アイピーさっぽろ (非ロータリアン、坂本勝彦氏事業所)	"
	ダイコク交通株式会社 (非ロータリアン、紫藤正吉氏事業所)	"
	大黒自工株式会社 (非ロータリアン、紫藤正吉氏事業所)	"
	住友建設株式会社北海道支店 (非ロータリアン、美曹勝利氏事業所)	"
	北洋相互銀行 (武井会員事業所)	3月3日
	伊藤組土建 (伊藤義郎会員事業所)	4月14日
	伊藤組 (非ロータリアン、桧原泰明氏事業所)	"
	札幌今井 (今井会員事業所)	5月26日
札幌西	サン・ベンディング北海道支店 (塩谷会員事業所)	5月17日
札幌真駒内	株式会社第一エンジニアリング (佐久間会員事業所)	11月5日
札幌南	株式会社アサズマ (朝妻会員事業所)	4月5日
	株式会社定鉄商事 (百留会員事業所)	"
	いのけ医院 (猪野毛会員事業所)	"
	板前料理ふうき (石川会員事業所)	"
	伊藤医院 (伊藤純会員事業所)	"
	医療法人慶愛会札幌花園病院 (伊藤耕三会員事業所)	"
	岩城秀晴税理士事務所 (岩城会員事業所)	"
	株式会社大北商会 (加藤会員事業所)	"
	丸北三建工業株式会社 (工藤会員事業所)	"
	株式会社松崎 (松崎会員事業所)	"
	株式会社梅澤時計店 (南館会員事業所)	"
	北海道相互銀行 (水出会員事業所)	"

札幌南	北日本通信建設株式会社札幌支店（中村孝会員事業所）	4月5日
	株式会社北海道教科書供給所（中村康会員事業所）	〃
	合名会社北海道学習社（中村康会員事業所）	〃
	株式会社地崎工業（大越会員事業所）	〃
	浄土宗新善光寺（太田会員事業所）	〃
	株式会社丹波屋（佐野会員事業所）	〃
	佐藤米穀店（佐藤会員事業所）	〃
	医療法人札幌中央病院（須田会員事業所）	〃
	中和石油株式会社（杉澤会員事業所）	〃
	株式会社丸井今井（鈴木会員事業所）	〃
	東京美装興業㈱北海道支社（田中会員事業所）	〃
	株式会社寺澤酒店（寺澤会員事業所）	〃
	株式会社長富慳商店（富慳会員事業所）	〃
	株式会社北陸銀行札幌支店（上田会員事業所）	〃
	株式会社札幌マツダ（山口会員事業所）	〃
	大丸藤井株式会社（南里会員事業所）	〃
	弘安倉庫株式会社（大星会員事業所）	〃
	株式会社サン広告（川崎会員事業所）	〃
	株式会社明治屋札幌支店（富田会員事業所）	〃
	大成建設株式会社札幌支店（土肥会員事業所）	5月7日
	日藤株式会社（藤居会員事業所）	〃
	明治乳業株式会社北海道事業部（後藤会員事業所）	〃
	株式会社竹中工務店北海道支店（芳賀会員事業所）	〃
	北海道テレビ放送株式会社（畠山会員事業所）	〃
	今井金商株式会社（今井国雄会員事業所）	〃
	北海道銀行株式会社（今井信夫会員事業所）	〃
	山一証券株式会社札幌支店（石川会員事業所）	〃
	北海道ダイエー株式会社（亀山会員事業所）	〃
	其水堂金井印刷株式会社（金井会員事業所）	〃
	株式会社金市館（加藤会員事業所）	〃
	カワイ動物病院（嘉会会員事業所）	〃
	川井事務所（川井会員事務所）	〃
	丸政商事株式会社（木下会員事業所）	〃
	ヤマハ株式会社北海道支店（松原会員事業所）	〃
	株式会社宮内写真館（宮内会員事業所）	〃
	末広屋電機株式会社（森松会員事業所）	〃
	株式会社道興（中田会員事業所）	〃
	西川哲也法律事務所（西川会員事務所）	〃
	北海道拓殖銀行札幌東支店（西村会員事業所）	〃

	株式会社丸々西尾（西尾会員事業所）	5月7日
	三井観光開発㈱札幌パークホテル（小山内会員事業所）	〃
	株式会社札幌後楽園ホテル（斎藤会員事業所）	〃
	株式会社北海道ユニオンインターナショナル（佐々木会員事業所）	〃
	内山建物株式会社（内山会員事業所）	〃
	北日本ホンダ販売株式会社（和田会員事業所）	〃
	日本勧業角丸証券㈱札幌支店（芳川会員事業所）	〃
	安田火災海上保険㈱北海道支店（弓山会員事業所）	〃
函館東	光銭内科医院（光銭会員事業所）	4月5日
	函館石炭石油㈱（斎藤会員事業所）	〃

(11)ロータリー財団奨学生

1987～88年度派遣（5名）

種別	氏名	性別	スポンサー クラブ	留学国	留学先	所属・出身校	勤務先
職業研修	岩崎弘昌	男	滝川	西ドイツ	Kapelle der Staatsoper Hamburg (ハンブルク国立歌劇場オーケストラ)	国立音楽大学 (音楽学部器楽オーボエ)	㈱札幌交響楽団
大学院課程	杉山朱実	女	札幌北	フランス	Universite de Toulouse (トゥルーズ大学)	北海道大学 (文学部)	
大学院課程	山田康夫	男	函館	アメリカ	California State University, Sacramento (カリフォルニア州立大学サクラメント校)	青山学院大学 (英米文学)	
大学院課程	宮下 徹	男	北広島	アメリカ	University of Brown (ブラウン大学)	北海道大学 (経済学部)	
大学課程	以頭紀子	女	札幌真駒内	アメリカ	Rutgers University (ラトガーズ大学)	藤女子短大 (英文科)	興亜火災海上保険㈱

1988～89年度派遣（6名）

種別	氏名	性別	スポンサー クラブ	留学国	留学先	所属・出身校	勤務先
大学院課程	荒谷陽子	女	札幌幌南	アメリカ	University of Illinois (イリノイ大学)	津田塾大学院 (米文学)	
大学課程	福田恵子	女	新札幌	イギリス	University of Sussex (サセックス大学)	京都大学 (法学部)	
大学院課程	今井ゆりか	女	札幌北	イギリス	Kingston Polytechnic (キングストン技術工科大学)	東京大大学院 (建築学科)	
ジャーナリズム	栗原 隆	男	札幌真駒内	アメリカ	未決定	北海道大学 (哲学科)	北海道新聞社
大学院課程	鈴鹿千佐緒	女	札幌西北	スイス	Conservatoire de Lausanne (ローザンヌ音楽院)	東京音楽大楽 (ピアノ科)	
大学院課程	植松留美子	女	札幌手稲	アメリカ	Ohio University (オハイオ大学)	北海道大学 (文学部)	石狩南高等学校

(12)ロータリーレートの変更

円高の影響により当年度は特に著しかった。

- (• 1987年 4 月 1 日 146 円)
- 1987年 7 月 1 日 139 円
- 1987年 9 月 1 日 150 円
- 1987年12月 1 日 142 円
- 1988年 1 月 1 日 135 円 60 銭
- 1988年 2 月 1 日 128 円
- (• 1988年 7 月 1 日 125 円)

< 1 ドル >

7. 米山記念奨学会

(1)米山記念奨学会寄付金納入明細表

1988年6月30日現在 (単位:円)

クラブ名	年 間 1名当り	1987/07月-1988/06月 期間入金分			過 去 累 計 分		
		普通寄付金	特別寄付金	合 計	普通寄付金	特別寄付金	合 計
赤 平	2,000	94,000	0	94,000	1,315,800	1,246,700	2,562,500
芦 別	2,000	109,000	0	109,000	1,628,300	600,000	2,228,300
美 唄	2,000	94,000	0	94,000	986,000	710,000	1,696,000
千 歳	2,000	215,000	72,662	287,662	2,283,700	1,136,357	3,420,057
伊 達	2,000	129,000	0	129,000	1,907,800	34,718	1,942,518
江 別	2,000	165,000	0	165,000	1,933,350	500,000	2,433,350
恵 庭	2,000	94,000	67,344	161,344	948,000	67,344	1,015,344
え り も	2,000	44,000	0	44,000	515,700	74,000	589,700
江 差	2,000	62,000	0	62,000	706,100	0	706,100
深 川	2,000	140,000	0	140,000	2,103,400	630,000	2,733,400
羽 幌	2,000	84,000	0	84,000	519,000	200,284	719,284
函 館	2,000	242,000	0	242,000	4,298,100	359,500	4,657,600
函 館 東	2,500	219,000	241,480	460,480	3,850,000	6,090,092	9,940,092
函館五稜郭	2,000	118,000	0	118,000	1,684,750	0	1,684,750
函 館 亀田	2,000	96,000	0	96,000	1,016,250	44,000	1,060,250
函 館 北	2,000	125,000	0	125,000	1,918,250	0	1,918,250
岩 見 沢	2,000	178,000	1,410,000	1,588,000	2,297,350	4,083,800	6,381,150
岩見沢東	2,000	75,000	0	75,000	293,000	400,290	693,290
岩 内	2,000	107,000	0	107,000	1,303,400	300,000	1,603,400
北 広 島	2,000	47,000	24,000	71,000	391,000	24,000	415,000
栗 沢	2,000	95,000	0	95,000	1,144,650	0	1,144,650
栗 山	2,000	109,000	0	109,000	1,228,000	27,500	1,255,500
俱 知 安	2,000	84,000	0	84,000	930,100	0	930,100
松 前	2,000	23,000	0	23,000	371,250	0	371,250
三 石	2,000	42,000	0	42,000	492,750	17,000	509,750
森 牛	2,000	66,000	0	66,000	995,600	0	995,600
妹 背	2,000	36,000	0	36,000	540,000	19,000	559,000
室 蘭	2,000	207,000	0	207,000	3,093,800	644,688	3,738,488
室 蘭 東	2,000	124,000	0	124,000	2,514,550	61,865	2,576,415
室 蘭 北	2,000	122,000	0	122,000	1,354,750	5,644	1,360,394
七 飯	2,000	64,000	0	64,000	613,000	0	613,000
登 別	2,000	96,000	0	96,000	1,070,500	98,791	1,169,291
小 平	2,000	21,000	0	21,000	321,000	0	321,000
長 万 部	半 1,000	22,000	0	22,000	721,950	14,000	735,950
小 樽	2,000	214,000	100,000	314,000	3,340,950	1,437,641	4,778,591
小 樽 南	2,000	160,000	74,500	234,500	2,239,000	582,500	2,821,500
小 樽 銭函	2,000	40,000	0	40,000	366,000	0	366,000
蘭 越	2,000	48,000	9,331	57,331	842,800	77,121	919,921
留 萌	2,000	230,000	539,300	769,300	2,756,000	1,917,810	4,673,810
様 似	2,000	75,000	0	75,000	980,100	0	980,100
札 幌	2,500	407,500	575,000	982,500	6,952,550	2,324,200	9,276,750
札 幌 東	2,000	283,000	1,897,000	2,180,000	4,140,400	3,052,000	7,192,400
札 幌 幌南	2,000	195,000	1,340,000	1,535,000	3,076,950	1,550,000	4,626,950

米山記念奨学金

クラブ名	年 間 1名当り	1987/07月-1988/06月 期間入金分			過 去 累 計 分		
		普通寄付金	特別寄付金	合 計	普通寄付金	特別寄付金	合 計
札幌真駒内	3,000	162,000	300,000	462,000	1,814,000	1,561,424	3,375,424
札幌 北	2,000	200,000	0	200,000	2,987,750	4,294,600	7,282,350
札幌 西北	2,000	107,000	330,000	437,000	1,099,750	1,437,500	2,537,250
札幌 南	3,000	414,000	2,260,000	2,674,000	5,142,450	6,936,200	12,078,650
札幌 手稲	2,000	151,000	284,000	435,000	1,710,750	2,411,000	4,121,750
札幌 西	3,000	411,000	367,600	778,600	5,412,200	6,832,321	12,244,521
白 老	2,000	57,000	0	57,000	573,500	4,895	578,395
静 内	2,000	115,000	0	115,000	964,200	10,000	974,200
砂 川	2,000	128,000	150,000	278,000	1,127,000	1,611,000	2,738,000
滝 川	2,000	178,000	0	178,000	2,282,850	330,000	2,612,850
当 別	2,000	76,000	0	76,000	782,000	250,000	1,032,000
苫 小 牧	3,000	246,000	0	246,000	2,979,650	584,000	3,563,650
苫小牧 北	2,500	176,250	180,170	356,420	1,593,250	796,168	2,389,418
洞 爺 湖	2,000	31,000	0	31,000	631,500	2,249	633,749
浦 河	2,000	95,000	0	95,000	1,352,000	389,761	1,741,761
余 市	2,500	116,500	0	116,500	1,080,200	20,000	1,100,200
新 札幌	2,000	89,000	285,066	374,066	321,000	654,288	975,288
そ の 他	0	0	0	0	0	300,000	300,000
地区 合計		7,953,250	10,507,453	18,460,703	103,839,950	56,756,251	160,596,201

(2)米山奨学生

前年度及び前々年度より継続（12名）

氏 名	性	国 籍	奨学金 種 類	期 間	大 学 名	課程学年	専 攻	世話クラブ
安 永 熙	男	韓 国	Y D	87/04-89/03	北海道大学	博士2	生物化学	札幌南
鄭 朝 燦	男	台 湾	Y D	86/04-88/03	北海道大学	博士3	社会環境学	札幌西北
崔 麟 和	男	韓 国	Y D	87/04-89/03	北海道大学	博士2	林学	札幌東
平栗ソフィア瑠美	女	ブラジル	Y M	86/04-88/03	北海道大学	修士2	環境法	札幌幌南
李 東 勲	男	韓 国	Y D	87/04-80/03	北海道大学	博士1	清掃工学	札幌手稲
李 南 赫	男	韓 国	Y M	86/04-88/03	酪農学園大学	修士2	肉製品製造学	江別
李 相 龍	男	韓 国	Y D	86/04-88/03	北海道大学	博士3	農業生物学	札幌北
李 栄 大	男	韓 国	Y M	87/04-88/03	北海道大学	修士2	環境保全	札幌真駒内
林 啓 瑞	男	台 湾	Y M	87/04-88/03	北海道大学	修士2	経営学	札幌
成 慶 一	男	韓 国	Y D	87/04-90/03	北海道大学	博士1	畜産学	札幌北
尹 世 燭	男	韓 国	Y D	87/04-89/03	北海道大学	博士2	農学	札幌西
姜 正 夫	男	韓 国	SY-OB	87/07-87/12	農林水産省家畜衛生試験場北海道支場	勤 務	獣医学	札幌南

今年度採用（５名）

氏 名	性	国籍	奨学金 種 類	期 間	大 学	課程学年	専 攻	世話クラブ
欧 慶 賢	男	台湾	Y D	88/04-89/03	北海道大学	博士 3	漁業学	函館
朴 起 賢	男	韓国	Y M	88/04-90/03	北海道大学	修士 1	経営学	新札幌
柳 洪 緑	男	韓国	Y M	88/04-89/03	小樽商科大学	修士 2	経営管理科学	小樽
沈 相 魯	男	韓国	Y D	88/04-90/03	北海道大学	博士 2	林産学	札幌幌南
鄭 朝 燦	男	台湾	C Y	88/04-88/09 (YD86/04-88/03)	北海道大学	博士 4	社会環境学	札幌西北

(3)米山功労者（12名）

砂 川	吉野 繁夫	7月29日	札幌 東	坂東 宗一	1月8日
岩 見 沢	鎌田 徹	10月9日	札幌真駒内	神谷 英光	5月25日
	神田紀久夫	〃	札幌 南	横地 棟器	7月25日
札幌 幌	西條 正博	3月7日		高谷 俊	11月4日
札幌 西	岸尾 正郎	10月6日		伊藤 孝	1月7日
札幌 東	高野 博	8月6日		須田 義雄	2月18日

(4)米山特別功労法人

札幌 東	北都交通株式会社（高野会長事務所）	11月28日
札幌 幌南	三暁建材工業㈱（登坂会員事業所）	2月5日
札幌 南	札幌山京ビル㈱（横地会員事業所）	7月25日

■ 米山記念奨学会評議員

（1987－88年度）

森 松 定 男（P.G.）

■ 米山記念奨学会理事

（1987－88年度）

坂 本 忠（D.G.）

大 橋 康 次（G.N.）

田 畑 武 夫（地区米山記念奨学会委
員長）

8. 情報資料室

(1)備え付け貸し出し資料

■スライドセット

No.	セ ッ ト 名	備 付 品	備 考
7	最 も 重 要 な 人 物	・台本（日本語） ・スライド40枚×4部 ・カセット（日本語）	新会員情報に適。 四大奉仕をそれぞれ解説。 2回に分けて利用するようすすめてある。 ・所要時間10分×4部
10	人類は大地に属する	・台本（日本語） ・スライド54枚 ・カセット（日本語）	生活環境問題
11	ロータリー財団	・台本（日本語） ・スライド80枚（うち№80欠） ・カセット（日本語）	
12	ロータリー青少年 指導者養成プログラム	・台本（日本語） ・スライド77枚 ・カセット（日本語他）	青少年の指導力の育成に助力する 地区計画の概要。
13	世界社会奉仕 （7セット）	・台本（日本語） ・スライド78枚 ・カセット（日本語他）	困窮している国々の生活向上の為に 諸国のRCが協力している様子を 紹介。
14	ザ・ロータリアン： 善意の歴史	・台本（日本語） ・スライド79枚（うち№40欠） ・カセット（日本語）	ザ・ロータリアンとレビスタ・ロー タリアの紹介に始まり、その利用 に及ぶ。 ・所要時間15分
15	広 報 活動しているロータリー	・台本（日本語） ・スライド60枚 ・カセット（日本語）	奉仕活動とその広報活動について 説明。 ・所要時間15分
18	ロータリー：奉仕の話	・台本（日本語） ・スライド65枚 ・カセット（日本語）	一般向けに作られているが新会員 情報用にも好適。 ・所要時間20分
22	平和へのともしび 活躍している国際奉仕	・台本（日本語） ・スライド80枚 ・カセット（日本語）	世界各地の国際奉仕の実例集。 ・所要時間13分
23	はばたく財団学友	・台本（日本語） ・スライド80枚 ・カセット（日本語）	財団学友（奨学生、GSE）が自 らの体験を通じて財団の意義を説 く。 ・所要時間15分
24	将来に立ち向うライラ	・台本（日本語） ・スライド80枚 ・カセット（日本語）	RYLAの概要。 ・所要時間13分30秒
25	フィリッピン大学 ロスバニョス分校の ロータリーハウス	・台本（日本語） ・スライド63枚 ・カセット（日本語）	
26	トロント国際大会	・台本（なし） ・スライド40枚 ・カセット（日本語）	
P 1 1	ポリオ・プラス — われらの挑戦 —	・台本（日本語） ・スライド43枚 ・カセット（日本語） ナレーターは河邨文一郎PG	RI第251地区 ポリオ・プラス委員会 特別製作ポリオの悲惨な症状には じまり、ポリオ・プラス・キャンペーン の意義を説く。 ・所要時間22分

No.	セ ッ ト 名	備 付 品	備 考
P 1 2	ポリオ・プラス・プロジェクト	・台本（日本語） ・スライド28枚 ・カセット（日本語）	日本ポリオ・プラス委員会製作 ポリオプラス・プロジェクトの概要を説明。 ・所要時間10分
P 1 3	何故ポリオ・プラスなのでしょうか	・台本（日本語） ・スライド80枚 ・カセット（日本語）	R I 製作 ポリオの症状、予防接種の効果を説明し、ポリオ・プラス計画の意義を説明。 ・所要時間15分

■ 16mmフィルム（カラー、サウンド）

平和のための財団（3本）	・リール巻 ・ケース共	ロータリー財団の全般的解説映画 ・所要時間22分
われらのつとめ ー 4つのテストとは何かー	〃	
東 京 大 会（4本）	〃	

■ ビ デ オ

'85 ～ '86年度 第 251 地区 年次大会	VHS 2本 ベーター 1本
---------------------------	------------------------------------

■ ロータリーソングカセットテープ（6本）

No.	内 容	No.	内 容
1	A 君ケ代	4	A 我等日本ロータリアンの歌
	B それでこそロータリー		B Birthday Song
2	A 奉仕の理想	5	A 日も風も星も
	B 手に手つないで		B Smile, Sing A Song
3	A 我等の生業	6	A R-O-T-A-R-Y
	B 4つのテスト		B Sing Everyone Sing

■ 図 書

No.	図 書 名	備 考
E-1	【Rotary?】 1934 年刊 版權シカゴ・ロータリー・クラブ 英文 変形A 5 判、293 ページ	シカゴ・ロータリー・クラブが、シカゴ大学に委託して製作した、ロータリーの調査報告書。 ロータリーの発生に始まり、シカゴR.Cの分析、ロータリーの本質、ロータリーの役割、会員制度の問題、組織論、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕を論じています。本書には、第三者的立場からロータリーを論じているとの批判もありますが、ロータリーの歴史を辿り、ロータリーに理解を深めるには好著と思います。
E-2	【The Golden Strand】 1966 年刊 版權シカゴ・ロータリー・クラブ 英文 変形A 5 判、291 ページ オーレン・アーノルド氏 著	副 題 “An Informal History of the Club of Chicago” とあるように、ロータリーの発祥、命名の由来、奉仕の思想の発展などを歴史的に記述してあります。 『Rotary?』と併読されると理解が深まります。
001	【ロータリー・モザイク】 1977 年 ロータリーの友刊 A 5 判、327 ページ ハロルド T. トーマス氏 著 松本 兼二郎氏 訳	いかにしてロータリーが始められたか、そして、なぜロータリーの方針とそのプログラムが史実の示すような道を辿って、生成発展してきたかを説明しようとしています。著者は、1982 年ニュージーランドに生まれ、1959～60 R.I.会長
002	【我が自叙伝】 昭和55年 訳者刊 A 5 判、167 ページ ハーバート J. テーラー氏 著 菅野 多利雄氏 訳	著者は、1930 年代の世界恐慌時代に、破産に瀕したアルミ製品会社を見事に再建したが、経営方針として氏が発案した「四つのテスト」は、国際ロータリーに採用され、ロータリアンの言行の指針となっている。 訳者は、1976～77 第352地区ガバナー、1983～85 R.I.理事、塩釜R.C.会員
003	【ロータリー発生史】 昭和46年 千種会刊 B 5 判、53ページ 小堀 憲助氏 著	1905～23 年、初期ロータリーを主対象として、ロータリーの思想、奉仕概念の発生、奉仕の分野の拡大を説く。
004	【歌と世相で綴る ロータリー75年史】 1980 年刊 B 5 判、4 ページ 神戸東ロータリークラブ 創立75周年記念委員会 編	
005	【火種はみんな持っている】 昭和40年 八幡ロータリークラブ 刊 A 5 判、152 ページ 松本 兼二郎氏、講演寄稿選集	八幡R.C.が国際ロータリー創立60周年を記念して出版したロータリーのあらゆる分野にわたる随筆集。

No.	図 書 名	備 考
006	【 Rotary Q&A 】 昭和59年刊 B 5 判、46ページ 森 滋郎氏・平島 健次郎氏 (第268地区 パストガバナー) 共著	クイズ形式。3分間情報の資料として好適。 国際ロータリー、日本ロータリー、地区、クラブ、ロータリー財団にまたがり収録されている。
007	【 ロータリー入門書 】 昭和50年刊 改訂第7版 新書版、147 ページ 前原 勝樹氏 著	ロータリーのあらゆる分野にわたり、ロータリー入門の書として広く活用されている入門の定本。
008	【 ロータリー社会奉仕事例集 】 昭和51年12月刊 新書版、229 ページ 前原 勝樹氏 著	ロータリーの社会奉仕の本質と、本質に迫る手段としての事例を説く。 別掲『ロータリー入門書』と併せてロータリアン必読の書。
009	【 ロータリー職業奉仕事例集 】 昭和50年刊 新書刊、318 ページ 前原 勝樹氏 著	職業奉仕を説くのに何故事例を重視するか、との著者の持論から始まる職業奉仕の定本。
010	【 前原ガバナー講話集 】 昭和50年刊 新書刊、87ページ	ロータリーを平易に説く著者の独特の解釈に惹かれて読み進むうち、知らず知らずにロータリーに対する理解が深まります。
011	【 ようこそロータリーへ 】 昭和58年 東京江北R.C.刊 改訂増補版 新書判、77ページ 佐藤 千寿氏 著	1974 年、第358地区年次大会において、参加者に、著者佐藤ガバナーから贈られたものの増補改訂版。新会員の手引きとして好適。
012	【 フォアウェイ・テストは 前進する 】 昭和47年 大阪ロータリークラブ 四つのテスト委員会刊 B 6 判、39ページ	1971 年9月号の『ザ・ロータリアン』に掲載された原文の翻訳。発祥から具体的な適用まで解説。
013	【 職業奉仕の勤どころ 】 昭和46年刊 第266地区職業奉仕 委員会 編 B 6 判、93ページ	職業奉仕の理念とは何か、その具体的実践方法について解説。神守源一郎氏、直木太一郎氏ほかの簡潔な説明が載っている。
014	【 ロータリーでいう職業奉仕 】 昭和47年 第258地区ガバナー事務所刊 A 5 判、57ページ 神守 源一郎氏 著	わかりにくいと言われる職業奉仕を明快に解説。必読の書としてお勧めします。

57

9. 地区資金収支決算書

(1)一般地区資金

【収入の部】

科 目	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)
前 期 繰 越 金	1,000,000	1,126,066
（ 上 期 ）	12,600,000	12,687,500
地 区 資 金	12,600,000	13,030,500
（ 下 期 ）		
雑 収 入	150,000	1,900,549
合 計	26,350,000	28,744,615

【支出の部】

科 目	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)
1. 地 区 大 会 費	1,200,000	1,200,000
(1)地 区 出 席 表 彰 費	1,000,000	1,000,000
(2)ガ バ ナ ー 記 念 品 代	200,000	200,000
2. 助 成 費	1,550,000	1,550,000
(1)地 区 協 議 会	800,000	800,000
(2) I . G . F .	600,000	600,000
(3)クラブ会長エレクト研修セミナー	150,000	150,000
3. 負 担 金	1,440,000	1,469,800
(1)ガ バ ナ ー 会	720,000	734,900
(2)日 本 ロ ー タ リ ー 文 庫	720,000	734,900
4. 会 議 費	3,310,000	2,616,832
(1)地区ガバナー諮問委員会	300,000	316,516
(2)地区ガバナー指名委員会	200,000	181,904
(3)地 区 分 区 代 理 会 議	350,000	345,700
(4)地区クラブ奉仕委員会	50,000	0
(5)地区職業奉仕委員会	50,000	0
(6)地区社会奉仕委員会	100,000	0
(7)地区青少年奉仕委員会	100,000	80,000
(8)地区インターアクト委員会	150,000	148,000
(9)地区ローターアクト委員会	150,000	135,000
00地区国際奉仕委員会	100,000	0
01地区国際共同委員会	100,000	0
02地区世界社会奉仕委員会	150,000	121,248

科 目	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)
03地区青少年交換委員会	200,000	310,376
04地 区 ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会	100,000	0
05地区財丹奨学生・学友委員会	50,000	0
06地 区 G . S . E . 委 員 会	50,000	0
07地区ポリオ・プラス委員会	100,000	52,200
08地 区 広 報 委 員 会	50,000	0
09地区会員増強・拡大委員会	150,000	151,086
00地区米山記念奨学会委員会	50,000	45,000
01その他の地区会議予備費	760,000	729,802
5. 旅 費	3,600,000	3,449,570
(1)ガ バ ナ ー 会	600,000	582,500
(2)(全国)バスト・ガバナー会議	1,300,000	1,290,800
(3)(全国)ガバナー・ノミニエ会議	400,000	324,500
(4)ガバナー・ノミニエ国際協議会	500,000	500,000
(5)全 国 地 区 連 絡 会 議	300,000	241,640
(6)そ の 他 の 会 議 予 備 費	500,000	510,130
6. 総 務 費	12,750,000	14,758,847
(1)ガ バ ナ ー 事 務 所 費	6,700,000	8,249,847
(2)地 区 幹 事 事 務 費	500,000	497,000
(3)分 区 代 理 事 務 費	600,000	600,000
(4)備 品 費	800,000	750,000
(5)消 耗 品 費	1,300,000	1,300,000
(6)通 信 送 料 費	2,000,000	2,228,000
(7)地 区 要 覧 費	350,000	350,000
(8)雑 費	500,000	784,000
7. 地区情報資料室費	1,000,000	993,000
8. 予備費（次期繰越金）	1,500,000	2,706,566
合 計	26,350,000	28,744,615

(2)特別地区資金

【収入の部】

科 目	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)
前 期 繰 越 金	1,000,000	18,556,151
特別地区資金 (上 期)	20,520,000	20,662,500
(下 期)	15,480,000	16,008,900
合 計	37,000,000	55,227,551

※(註)特別地区資金次期繰越内訳

1, G.S.E. 事業費繰越

1985 ~ '86年度繰越 (望月期)	7,711,132円
1986 ~ '87年度繰越 (三浦期)	3,550,000円
1987 ~ '88年度繰越 (坂本期)	3,624,000円
計	14,885,132円

2, 規定審議会地区代議員費

1985 ~ '86年度繰越	173,916円
1986 ~ '87年度繰越	177,550円
1987 ~ '88年度繰越	181,250円
計	532,716円

3, W.C.S. 事業費

205,928円

4, 他

9,779,269円

総 計 25,403,045円

【支出の部】

科 目	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)
1, 地区大会分担金	9,000,000	9,000,000
2, 地区協議会分担金	4,500,000	4,500,000
3, インターアクト事業費	2,160,000	2,160,000
4, ローターアクト事業費	2,880,000	3,181,560
5, 青少年交換事業費	7,200,000	6,688,884
6, 世界社会奉仕事業費	2,160,000	2,561,072
7, 財団奨学生事業費	720,000	706,720
8, G. S. E. 事業費	3,600,000	50,000
9, 青少年奉仕活動事業費	2,520,000	976,270
10, 規定審議会地区代議員費	180,000	0
11, 諸事業予備費 (次期繰越金)	2,080,000	25,403,045
合 計	37,000,000	55,227,551

昭和63年10月15日

地区会計 井 後 幸太郎

(3)監 査 報 告

上記決算につき監査を実施したところ適正であることを認めた。

昭和63年10月31日

地区資金委員長 林

饒

10. そ の 他

(1)地区外公式行事

年 月 日	行 事	場 所
1987年7月1日	ガバナー会	東京プリンスホテル
	現・次期・元ガバナー懇談会	〃
	ロータリーの友委員会	〃
7月2日	アジア第1・第3ゾーン拡大セミナー	帝国ホテル（東京）
7月3日	アジア第1・第3ゾーン会員増強セミナー	〃
	地区青少年交換委員長全国会議	abc 会館（東京）
8月25日	米山記念奨学会評議員会	芝パークホテル（東京）
9月4日	地区米山奨学委員長会合	〃
9月7日	ロータリーの友委員会	abc 会館（東京）
9月22日	地区ポリオ・プラス委員長会議	東京ステーションホテル
10月2日	ガバナー会	札幌パークホテル
	RIアジア第1・第3ゾーン研究会前夜歓迎晩餐会	札幌グランドホテル
10月3日	〃 本会議	札幌パークホテル
10月4日	〃 〃	〃
11月2日	ロータリーの友委員会	abc 会館（東京）
12月3日	地区青少年交換委員長全国会議	〃
1988年1月13日	ロータリーの友委員会	東京プリンスホテル
2月19日	ガバナー会	椿山荘（東京）
2月20日	国際協議会（28日迄）	米国ナッシュビル
3月1日	「ロータリーの友」ガバナー座談会	東京プリンスホテル
3月7日	ロータリーの友委員会	大阪ロイヤルホテル
3月12日	アジア第1・第3ゾーン、ローターアクト研修会	京都ホテル・京都銀行協会
5月11日	ロータリーの友委員会	東京郵便貯金会館
5月20日	国際大会（25日迄）	米国フィラデルフィア
6月30日	ガバナー会	東京プリンスホテル

(2)海外地区並びにクラブからの来信

- 第204地区（イタリア）DGより、「ヨーロッパ機械器具博覧会」案内
(1987年7月)
- 第329地区（インド）地区幹事より、アジア地域大会出席者のための「仏教徒巡礼の旅」案内
(1987年8月)
- ニメRC（フランス）会長より、ポリオ・プラスキャンペーンに使うため、絵や乾燥植物等、日本を特徴づける品送付依頼
(1987年8月)
- ロータリー村落共同隊（インド）委員長より、アジア地域大会でのRV Cをテーマとした昼食会案内
(1987年8月)
- 第365地区（韓国）DGより、地区大会案内
(1987年8月)
- 第945地区（オーストラリア）DGより、ポリオ・プラスのためのゴルフツアー案内
(1987年9月)
- 第932地区（南アフリカ）DGより、南アフリカ親善友好ツアー案内
(1987年10月)
- タモン・ベイRC（グアム）元会長より、グアム大学にプロフェッサーシップを設けるための協力の願い
(1987年10月)
- ハイツ・オブ・グレート・クリーブランドRC（アメリカ）より、ガーナの病院への寄付願い
(1987年10月)
- 第380地区（フィリピン）RV C委員会よりRV Cアジアフォーラム案内
(1987年11月)
- 第381地区（フィリピン）DGより、「インターカントリーフレンドシップフォーラム」案内
(1987年12月)
- 第371地区（韓国）DGより、当地区との姉妹地区締結申し入れ
(1987年12月)
- 第381地区（フィリピン）アジアWCS副委員長より国際大会のWCSプログラムへの協力依頼
(1988年1月)
- 第715地区（アメリカ）DGより、ガバナ一月信に当地区を紹介するための原稿依頼
(1988年1月)
- デリー・サウスRC（インド）より 夏期研究会案内
(1988年9月)
- ワイキキRC（ハワイ）「ワン・オン・アウワ・リーチアウト」プログラムへの参加依頼
(1988年1月)
- イスタンブール・アダラRC（トルコ）より、ごみの処理についての情報提供依頼
(1988年1月)
- 第420地区（メキシコ）DGより、地区大会案内
(1988年2月)
- 25デ・マヨRC（アルゼンチン）より、第490地区大会案内
(1988年2月)
- メーシンRC（トルコ）より、「メーシン花の祭典」案内
(1988年3月)
- 第327地区（パキスタン）DGより、ラホア・ジャンディRC会長エレクトが日本を訪問する知らせ
(1988年4月)
- ウィングムRC（オーストラリア）より、クラブ紹介の文書
(1988年5月)
- スリ・ジャヤワデーネブラRC（スリランカ）より、スリランカ日本教育文化センター案内
(1988年5月)
- 第545地区（アメリカ）青少年交換委員会より情報誌
(1988年5月)
- 第322地区（インド）GNより、地区紹介の文書
(1988年5月)
- バンガローRC（インド）より、バナー送付依頼
(1988年5月)
- 第424地区（エル・サルバドル）救急委員会より、地震に対する寄付依頼
(1988年6月)

(3)地区内各月実施行事内容

月	日	曜	行	事	会	場
1987 年						
5	16	土	第 1 回委員長会議		札幌国際ホテル	
	23	土	第 1 回分区代理会議		〃	
6	24	水	第 1 回ガバナー諮問委員会		札幌グランドホテル	
7	4	土	第 1 回青少年交換委員会		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
	11	土	第 1 回ローターアクト委員会		京王プラザホテル (札幌)	
	12	日	第 1 回ローターアクト提唱クラブ委員長会議		ぎょうさいサロン (札幌)	
	18	土	アメリカ・カナダ派遣交換学生オリエンテーション		〃	
	20	月	第 1 回財団奨学生・学友委員会		〃	
	21	火	第 1 回世界社会奉仕委員会		すし栄 (札幌)	
	24	金	第 1 回ガバナー指名委員会		札幌グランドホテル	
	25	土	R.I.第255地区インターアクト来札歓迎会		札幌経済センター	
	27	月	ガバナー事務所スタッフ会議		大和家 (札幌)	
8	2	日	第 1 回会員増強委員会		札幌グランドホテル	
	3	月	青少年交換学生筆記試験		ベテル英語センター (札幌)	
	8	土	青少年交換学生面接試験・第 2 回青少年交換委員会		〃	
	9	日	ロータリー財団奨学生選考試験		ぎょうさいサロン (札幌)	
	15	土	アメリカ・カナダ交換学生歓送迎会		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
	20	木	インターアクト第255地区へ研修旅行 (23日迄)			
	24	月	第 2 回世界社会奉仕委員会		ぎょうさいサロン (札幌)	
	27	木	ガバナー事務所スタッフ会議		ガバナー事務所	
	29	土	函館東 R C 30 周年記念式典		函館ロイヤルホテル	
			アメリカ・カナダ交換学生オリエンテーション・歓迎会		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
	31	月	第 2 回ガバナー諮問・指名委員会		札幌グランドホテル	
9	13	日	ローターアクトの日 (豊平川清掃)			
	21	月	第 1 回米山記念奨学会委員会 交換学生研修旅行 (鎌倉・日光、24日迄)		札幌国際ホテル	
	25	金	地区大会親睦ゴルフ大会		札幌国際カントリークラブ島松コース	
			〃 R I 会長代理晩餐会		札幌グランドホテル	
	26	土	〃 会長幹事会 〃 本会議		〃 札幌市民会館	

月	日	曜	行 事	会 場
	26	土	地区大会記念懇親会	札幌グランドホテル
	27	日	〃 本会議	札幌市民会館
10	24	土	ローターアクト年次大会（25日迄）	ホテルアカシア（札幌）
	30	金	第3回青少年交換委員会	センチュリーローヤルホテル（札幌）
	31	土	インターアクト年次大会（1日迄）	ホテル札幌会館
11	13	金	第3回ガバナー諮問・指名委員会	札幌グランドホテル
	17	火	第3回世界社会奉仕委員会	全日空ホテル（札幌）
	21	土	駒沢大付属岩見沢高校 I A C 20周年記念式典	岩見沢市民会館
	25	水	WCSについての打合せ会	ガバナー事務所
	28	土	米山奨学生懇談会	きょうさいサロン（札幌）
			ローターアクト5大学交流会（29日迄）	ホテルアカシア（札幌）
12	1	火	交換学生懇談会	センチュリーローヤルホテル（札幌）
	15	火	オーストラリア交換学生歓送会・第4回青少年交換委員会	〃
	18	金	第4回世界社会奉仕委員会	札幌プリンスホテル
	27	日	ローターアクト国内研修旅行結団式	日本旅行札幌ビル
1988	年			
1	10	日	オーストラリア交換学生ホストファミリー説明会 ローターアクト研修旅行R.I.第258地区東京、沖縄(15日迄)	センチュリーローヤルホテル（札幌）
	16	土	地区情報セミナー前夜打合せ会	札幌国際ホテル
	17	日	地区情報セミナー	ホテル札幌会館
2	3	水	第4回ガバナー諮問委員会・大橋G N夫妻壮行会	札幌国際ホテル
	5	金	オーストラリア交換学生オリエンテーション・歓迎会	センチュリーローヤルホテル（札幌）
	6	土	第1回ポリオ・プラス委員会	札幌グランドホテル
	12	金	第1回拡大委員会	〃
	13	土	第2回会員増強委員会	センチュリーローヤルホテル（札幌）
	21	日	第9分区 I.G.F. オーストラリア派遣交換学生オリエンテーション	ホテル万世閣（洞爺湖） センチュリーローヤルホテル（札幌）
3	13	日	長万部 R C 20周年記念式典	レストランかなや（長万部）
	15	火	第1回情報資料室委員会 オーストラリア派遣交換学生壮行会	大和家（札幌） センチュリーローヤルホテル（札幌）
	16	水	米山奨学生歓送会	札幌パークホテル
	18	金	第510地区青少年交換委員レイ・フィールズ氏歓迎会	センチュリーローヤルホテル（札幌）
	19	土	第6分区 I.G.F. 米山奨学生選考会	北海ホテル（小樽） 札幌パークホテル

月	日	曜	行	事	会	場
3	20	日	会長エレクト研修セミナー		野幌公民館	
	26	土	第10・11分区 I.G.F.		函館国際ホテル	
	29	火	R.I.会長御夫妻歓迎会		札幌グランドホテル	
	30	水	R.I.会長御夫妻歓迎合同例会		"	
			R.I.会長とクラブ会長との懇談会		"	
4	1	金	オーストラリア派遣交換学生帰国報告・歓迎会		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
	9	土	第4・5分区 I.G.F.		札幌ローヤルホテル	
	17	日	第3分区 I.G.F.		当別農業会館	
			千歳RC20周年記念式典		千歳市民文化センター	
	18	月	新クラブ結成特別委員会		札幌国際ホテル	
	21	木	第5回ガバナー諮問委員会		"	
	23	土	留萌RAC15周年記念式典		留萌市文化センター	
	24	日	蘭越RC20周年記念式典		蘭越町公民館	
	28	木	地区協議会前夜懇談会		札幌ローヤルホテル	
	29	金	地区協議会		"	
5	4	水	沖縄のローターアクター歓迎会		きょうさいサロン(札幌)	
	8	日	芦別RC30周年記念式典		芦別レジャーランド	
	15	日	第1分区 I.G.F.		羽幌中央公民館	
	18	水	米山奨学生オリエンテーション		札幌パークホテル	
	22	日	第8分区 I.G.F.		中央公民館(様似)	
			ローターアクト地区協議会		きょうさいサロン(札幌)	
	28	土	第1回インターアクト委員会		札幌フジヤサントスホテル	
	29	日	第2分区 I.G.F.		赤平公民館	
6	4	土	第7分区 I.G.F.		北広島団地住民センター	
	8	水	第6回ガバナー諮問委員会		札幌グランドホテル	
	11	土	千歳RAC承認書伝達式		レストラン西洋軒(千歳)	
	12	日	青少年指導者育成研修セミナー		札幌サンプラザ	
	18	土	第2回分区代理会議		札幌グランドホテル	
	19	日	ロータリー財団奨学生オリエンテーション		札幌国際ホテル	
			岩見沢東RC5周年記念例会		岩見沢平安閣	
	23	木	札幌モーニングRC創立総会		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
	24	金	アメリカ・カナダ交換学生送別会		"	
	26	日	インターアクト1日研修会		札幌第一高等学校	

(4)記念式典開催状況

■ロータリークラブ

ク ラ ブ 名	周 年	日 時	会 場
函 函 東 R C	創立 30 周年	'87. 8. 29 (土)	函 館 ロ イ ヤ ル ホ テ ル
長 万 部 R C	創立 20 周年	'88. 2. 13 (日)	レストランかなや (長万部)
千 歳 R C	創立 20 周年	'88. 4. 17 (日)	千 歳 市 民 文 化 セ ン タ ー
蘭 越 R C	創立 20 周年	'88. 4. 24 (日)	蘭 越 町 公 民 館
芦 別 R C	創立 30 周年	'88. 5. 8 (日)	芦 別 レ ジ ャ ー ラ ン ド
岩 見 沢 東 R C	創立 5 周年	'88. 6. 19 (日)	岩 見 沢 平 安 閣

■インターアクトクラブ

ク ラ ブ 名	周 年	日 時	会 場
駒沢大付属岩見沢高校 IAC	創立 20 周年	'87. 11. 21 (土)	岩 見 沢 市 民 会 館

■ローターアクトクラブ

ク ラ ブ 名	周 年	日 時	会 場
留 萌 R A C	創立 15 周年	'88. 4. 23 (土)	留 萌 市 文 化 セ ン タ ー

(5)物故会員 (1987.7.1~1988.6.30)

氏 名	クラブ名	ご逝去年月日	行年	ロータリー歴
鎌 田 厳	岩 見 沢	1987年 7 月11日	90 歳	1954年 5 月入会
小 山 藤 夫	札 幌 北	" 7 月23日	63 歳	1974年 8 月 "
岩 塚 陽 一	函 館 北	" 7 月27日	60 歳	1967年 2 月 "
松 井 啓 紀	俱 知 安	" 8 月 1 日	77 歳	1964年12月 "
石 堂 廓 悟	江 別	" 8 月21日	46 歳	1972年 1 月 "
名 畑 健 次	苫 小 牧	" 8 月25日	83 歳	1957年 1 月 "
大 沼 文 雄	函 館	" 8 月31日	86 歳	1939年 9 月 "
小 柳 誠 司	札 幌 南	" 9 月10日	72 歳	1969年 1 月 "
中 村 誠一郎	札 幌 幌 南	" 9 月19日	61 歳	1981年 1 月 "
小 川 宏 一	小 樽	" 9 月30日	67 歳	1963年 8 月 "
飯 淵 至 大	函館五稜郭	" 10月 7 日	57 歳	1970年 1 月 "
佐々木 耕 吉	函 館 北	" 10月 7 日	55 歳	1986年 4 月 "
佐 藤 一 郎	札 幌 北	" 10月20日	75 歳	1971年 5 月 "
北 濱 五 郎	小 樽	" 11月 1 日	52 歳	1987年 9 月 "
川 村 伊佐男	森	" 11月 3 日	77 歳	1971年 3 月 "
地 崎 宇三郎	札 幌	" 11月11日	68 歳	1947年 7 月 "
芳 賀 巖	滝 川	" 11月14日	58 歳	1985年 8 月 "
北 川 清	栗 山	" 11月25日	66 歳	1983年 9 月 "
三 好 竹 勇	白 老	" 11月25日	85 歳	1979年 6 月 "
今 井 寛	小 樽	" 11月28日	70 歳	1954年 1 月 "
前 田 治	札 幌 北	" 12月14日	67 歳	1971年 5 月 "
小 島 友 彦	室 蘭 東	" 12月17日	62 歳	1977年 8 月 "
横 山 正 雄	札 幌 西	" 12月22日	76 歳	1967年 3 月 "
瓜 健 夫	砂 川	1988年 1 月 4 日	63 歳	1970年 1 月 "
三 溝 喜 八	余 市	" 1 月 7 日	73 歳	1961年 5 月 "
岡 田 常 利	岩 内	" 1 月11日	65 歳	1980年 2 月 "

そ の 他

氏 名	クラブ名	ご逝去年月日	行年	ロータリー歴
坂 内 保 一	函 館	1988年 1 月13日	63 歳	1981年 7 月入会
天 崎 義 徳	栗 沢	" 1 月14日	76 歳	1980年 7 月 "
佐久間 昭 直	札 幌	" 1 月26日	60 歳	1986年 7 月 "
畑 正 蔵	小 樽	" 1 月29日	74 歳	1965年11月 "
藤 本 旭	伊 達	" 1 月29日	51 歳	1968年 7 月 "
三 浦 由 魏	美 唄	" 2 月 3 日	68 歳	1973年 5 月 "
桜 庭 義 弘	小 樽	" 2 月 9 日	52 歳	1985年11月 "
河 瀬 登	岩 見 沢	" 2 月10日	62 歳	1964年 4 月 "
宮 武 清 一	登 別	" 2 月12日	78 歳	1969年12月 "
佐久間 三 八	苫 小 牧	" 2 月15日	80 歳	1957年 1 月 "
五十嵐 彦 仁	札 幌 西	" 2 月16日	87 歳	1966年 7 月 "
中久保 正 夫	札 幌 南	" 3 月 2 日	87 歳	1956年12月 "
里 城 由 雄	函 館 北	" 3 月14日	66 歳	1984年 4 月 "
竹 内 恒 宏	札 幌	" 3 月19日	83 歳	1937年 4 月 "
柳 浦 嘉 紀	札 幌 東	" 3 月20日	58 歳	1987年 6 月 "
中 山 邦 雄	滝 川	" 3 月22日	57 歳	1986年 7 月 "
柴 田 栄治郎	函 館 東	" 3 月27日	54 歳	1978年 6 月 "
鎌 田 賢 三	浦 河	" 4 月 5 日	55 歳	1976年10月 "
田 中 市太郎	小 樽	" 4 月18日	64 歳	1965年 7 月 "
斎 藤 利 信	札 幌 手 稲	" 4 月28日	74 歳	1970年 6 月 "
高 谷 俊	札 幌 南	" 5 月18日	63 歳	1964年 3 月 "
風 間 正 一	森	" 5 月21日	72 歳	1964年 4 月 "
高 山 担 三	札 幌	" 6 月 9 日	81 歳	1954年 2 月 "
木 斉 與四郎	三 石	" 6 月10日	82 歳	1978年 7 月 "
小 畑 藤五郎	札 幌 手 稲	" 6 月13日	84 歳	1970年 6 月 "
明上山 寿 朗	蘭 越	" 6 月14日	59 歳	1972年 3 月 "
三 崎 富 重	千 歳	" 6 月18日	59 歳	1974年 2 月 "
西 口 幸 男	深 川	" 6 月23日	45 歳	1986年 2 月 "

(6)表 彰

■ R.I.会長賞

1987-88年度R.I.会長賞は、下記の8目標のうち、5つを達成したクラブが該当する。

1. 会員純増 3% (1987年6月30日から1988年6月30日までの会員数純増)
2. ロータリー・クラブのスポンサーとなる。
3. ローターアクト・クラブ、インターアクト・クラブ、ロータリー村落共同隊のスポンサーとなる。
4. 今年度中に職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の部門で一件新たな活動をした。
5. 地区協議会にクラブ次期会長、幹事が参加すること。
6. 地区大会参加会員数が昨年度を10%上まわった。
7. ロータリー財団寄付額が昨年度より10%増加した。
8. ポリオ・プラスの目標をかなえること。

当地区では以下の12クラブが該当した。

深川 R C	札幌真駒内 R C
留萌 R C	新札幌 R C
美唄 R C	恵庭 R C
岩見沢 R C	千歳 R C
岩見沢東 R C	北広島 R C
札幌手稲 R C	静内 R C

■地区表彰

- 出席優秀賞 (年間、出席 100%クラブ)

函館稜郭ロータリークラブ

砂 川 ”

- 永年 100%出席者表彰

35. 30. 25. 20. 15. 10 年別一覧表を69~72
に掲載

永年100%出席者表彰

	ク ラ ブ	氏 名		ク ラ ブ	氏 名
35 年	小 樽	朽 木 英 一	20 年	江 別	菅 原 市 蔵
				〃	土 谷 茂 樹
30 年	芦 別	中 野 重 雄		函 館 五 稜 郭	滝 野 敏 弥
	岩 見 澤	望 月 武 義		函 館 東	菅 泉
	室 蘭	林 一 男		函 館 北	平 野 義 勝
	小 樽	清 水 孫 四 郎		〃	飯 田 貢 一
	札 幌	勝 木 郁 郎		〃	森 秀 樹
	〃	小 原 啓 三 郎		〃	高 杉 重 雄
	札 幌 南	森 松 定 男		岩 見 澤	西 川 昇
	滝 川	今 野 正 義		岩 内	小 林 栄
				室 蘭 東	遠 藤 広 雄
25 年	岩 内	勝 戸 正 二		〃	勝 谷 亘
	〃	紀 八 郎		〃	国 本 鎮 雄
	函 館	葛 西 知 二		長 万 部	赤 塚 繁 夫
	〃	四 倉 太 郎		〃	松 岡 博
	函 館 東	斉 藤 誠 太 郎		〃	鈴 木 繁
	室 蘭	拓 植 重 夫		小 樽	新 谷 篤 太 郎
	小 樽	皆 川 武 夫		〃	本 多 敬
	札 幌 東	藤 井 清		〃	柳 澤 昭 吉
	〃	山 中 三 郎		様 似	武 岡 春 雄
	札 幌 北	足 立 伊 佐 武		札 幌	越 山 文 哉
	苫 小 牧	高 松 諒		〃	西 條 正 博
				札 幌 東	斉 藤 福 蔵
20 年	千 才	千 葉 正		〃	戸 倉 亮 三
	〃	近 川 信		〃	吉 田 誠
	〃	村 上 治		札 幌 北	言 健 二
	伊 達	上 條 喜		札 幌 幌 南	富 田 実
				札 幌 真 駒 内	船 本 達 世

	ク ラ ブ	氏 名		ク ラ ブ	氏 名
20 年	札 幌 南	水 出 久 雄	15 年	室 蘭	早 坂 勝 美
	札 幌 西	伏 木 忠 了		"	鴨 井 清 成
	"	山 下 博		室 蘭 東	伊 藤 弘
	苫 小 牧	国 本 時 夫		"	田 村 武 夫
				小 樽	江 口 善 保
15 年	赤 平	田 中 太 郎		"	秦 健 二
	芦 別	橋 浦 弘		"	本 田 壮 稜
	"	広 島 武		"	北 川 暁 一
	"	川 島 昭 二		"	野 口 信 夫
	美 唄	後 藤 三 雄		"	大 本 勤
	"	藤 井 俊 一		"	坪 井 真 範
	"	竹 松 洋		小 樽 南	沢 田 幸 一
	千 才	浅 利 作 造		"	渡 辺 雅 敏
	"	加 藤 武 仁		札 幌	荒 紀 男
	"	丹 治 秀 一		"	中 村 治 雄
	"	長 嶺 寛		"	中 山 博 道
	伊 達	楠 本 誠 治		"	山 藤 邦 雄
	"	沼 田 正 光		札 幌 東	野 坂 八 郎
	恵 庭	植 田 俊 三		"	桜 井 淳
	函 館 五 稜 郭	石 尾 広 道		"	横 山 安 行
	"	浜 野 達 夫		札 幌 北	加 賀 谷 正 憲
	"	斉 藤 東 栄		"	葛 西 克 己
	"	曾 根 滋 吉		"	長 岡 一 孝
	函 館 東	棟 有 夔		"	中 田 公 治
	"	広 田 敏 夫		"	宮 澤 正
	"	矢 島 千 穂		"	毛 利 喜 八
	"	渡 辺 彰		"	高 倉 勤 次 郎
	函 館 亀 田	埴 山 一 弥		札 幌 幌 南	上 林 登
	"	坪 山 元 彦		"	佐 藤 一 夫
	栗 山	山 崎 勇 吉		"	山 際 広 昭
	倶 知 安	細 田 昭 和		札 幌 南	加 藤 正 雄

そ の 他

	ク ラ ブ	氏 名		ク ラ ブ	氏 名
15年	札幌西	河 邸 文 郎	10年	伊 達	岡 島 佳 弘
	〃	岡 崎 庚 平		〃	佐 久 間 重 行
	〃	中 野 昇		江 別	松 浦 利 市
	〃	中 村 嘉 人		〃	佐 藤 正 志
	〃	山 崎 初 三 郎		恵 庭	三 上 春 吉
	札幌手稲	岩 瀬 一 郎		深 川	杉 浦 修
	〃	中 島 忠 美		函 館	亀 井 敏 清
	白 老	川 田 清		函館五稜郭	苫 米 地 美 徳
	〃	壬 生 竜 之 介		函 館 亀 田	小 島 悦 郎
	砂 川	大 山 猛 熊		函 館 北	加 藤 久 春
	〃	西 川 是		〃	中 川 州 平
	滝 川	広 部 正 夫		岩 見 澤	長 谷 川 暢 一
	〃	近 藤 輝 雄		〃	武 蔵 信 一
	苫小牧北	広 瀬 信 平		室 蘭 東	石 田 実
	〃	関 寺 恭 郎		室 蘭 北	有 路 智 彦
	〃	山 崎 昭 三		〃	川 村 泰 三
	洞 爺 湖	秋 田 昌 昭		〃	斉 藤 義 寛
	浦 河	古 田 園 祥		長 万 部	前 川 俊 雄
				〃	森 喜 義
10年	赤 平	松 田 光 幸		〃	高 森 治 光
	〃	竹 島 緋 出 男		小 樽	工 藤 要
	〃	田 島 隆 男		〃	野 口 英 機
	芦 別	神 野 一 民		〃	渡 辺 徳 次 郎
	〃	松 井 良 吉		〃	渡 辺 吉 晴
	〃	田 中 正 之		小 樽 南	萩 野 正 三
	千 才	藤 田 美 治		〃	山 谷 隆 平
	〃	井 上 正 雄		蘭 越	堀 川 強 太 郎
	〃	中 浦 忠 男		留 萌	松 村 孝 二
	〃	斉 藤 公 彦		〃	中 原 尚 司
	〃	高 田 昭 治		〃	中 村 日 出 夫

	ク ラ ブ	氏 名		ク ラ ブ	氏 名
10年	札 幌	古 川 誠	10年	札 幌 手 稲	福 士 光 憲
	"	菊 池 幹 夫		"	針 谷 龍 宜
	"	駒 野 幸 一		"	久 末 満 三
	"	松 村 亮 一		"	岡 島 清 一
	"	玉 置 博		静 内	平 野 井 繁
	札 幌 東	可 野 哲 治		"	賀 集 健 三
	札 幌 北	長 谷 川 忠 信		砂 川	沖 田 比 呂 志
	"	平 田 勝 美		滝 川	宮 崎 次 郎
	"	大 越 誠 幸		"	鈴 木 忠 男
	"	坂 田 博		"	高 畑 鉄 雄
	札 幌 幌 南	深 田 博 司		"	山 腰 修 司
	"	保 木 時 雄		苫 小 牧	水 永 与 士 夫
	"	岸 本 総 一 郎		苫 小 牧 北	上 野 秋 彦
	"	黒 済 雄 孝		浦 河	原 田 淳 也
	"	笹 原 八 郎			
	"	関 正 明			
	札 幌 真 駒 内	岩 橋 勝 信			
	"	京 田 貞 雄			
	札 幌 南	百 留 次 雄			
	"	川 崎 秀 雄			
	"	島 津 宏 興			
	"	吉 尾 弘			
	札 幌 西	石 壬 二 久			
	"	伊 藤 千 秋			
	"	芳 賀 孝 郎			
	"	中 村 義 輝			
	"	大 和 良 二			
	"	倭 昭 三			
	"	柳 町 文 造			
	札 幌 西 北	斉 藤 宗 男			
	"	渡 辺 恒			

■地区ガバナー特別表彰

○会員増強特別優秀賞

千 歳 ロータリークラブ

○会員増強優秀賞

江 別 ロータリークラブ

恵 庭 ”

函 館 ”

函 館 東 ”

岩 見 澤 ”

札幌真駒内 ”

札幌手稲 ”

静 内 ”

○ポリオ・プラス協力優秀賞

札幌 ロータリークラブ

静 内 ”

北 広 島 ”

札幌真駒内 ”

札幌 北 ”

様 似 ”

○ポリオ・プラス協力優良賞

江 別 ロータリークラブ

滝 川 ”

札幌手稲 ”

○ロータリー拡大賞

札幌 北 ロータリークラブ

○青少年奉仕優秀賞

千 歳 ロータリークラブ

○スポーツ親睦賞

滝 川 ロータリークラブ

○奉仕活動賞

芦 別 ロータリークラブ

江 差 ”

羽 幌 ”

栗 澤 ”

三 石 ”

室 蘭 ”

室 蘭 東 ”

室 蘭 北 ”

七 飯 ”

小 樽 ”

小 樽 南 ”

蘭 越 ”

留 萌 ”

札幌 東 ”

札幌 幌南 ”

札幌 南 ”

札幌 西 ”

札幌 西北 ”

白 老 ”

苫 小 牧 ”

洞 爺 湖 ”

浦 河 ”

「ガバナー月信」各号の主な内容

第1号（1987.7.1）

R.I.会長・ガバナーご挨拶
R.I.会長・ガバナープロフィール
三浦直前ガバナーへの謝辞
故山賀バスト・ガバナー追悼文
分区代理・地区委員長紹介
地区組織
地区大会のご案内
公式訪問日程・お願い
定期報告・送金関係一覧
地区予算
251地区クラブ一覧
情報資料室ニュース

第2号（1987.7.15）

ガバナーのことば
8月の公式訪問予定
地区委員会だより
地区内R.A.、I.A.クラブ一覧
文庫だより
財団奨学生・米山奨学生
交換学生一覧表
地区情報資料室ニュース
主要行事日程

第3号（1987.8.15）

VICKY DONALDSONのこと
冥利につぎるG.余慶
ガバナー公式訪問日記
委員会報告
ローターアクト地区代表および
地区テーマ決まる
ロータリー財団へのご協力に感謝します
ロータリー財団寄付額
情報資料室ニュース
出席報告
主要行事日程および案内

第4号（1987.9.15）

公式訪問印象記
ガバナー公式訪問日記
河邨P.G.への感謝状
委員会便り
財団協力者芳名一覧
情報資料室ニュース
8月の出席報告
主要行事日程・案内

第5号（1987.10.15）

職業奉仕について
ガバナー公式訪問日記
米山記念奨学会の現況
委員会報告
ロータリー財団と米山奨学会への協力者芳名
ロータリー財団寄付額
情報資料室ニュース
9月の出席報告
主要行事日程・案内等

第6号（1987.11.15）

地区大会を終えて
ロータリー財団月間にあたって
ガバナー公式訪問日記
宋仁相R.I.会長代理礼状
ロータリー財団協力者芳名
ポリオ・プラス寄付一覧表
委員会便り
地区情報資料室ニュース
10月の出席報告
主要行事日程・案内等

第7号（1987.12.15）

上半期を終らんと
ガバナー公式訪問日記
地区大会始末記
地区委員会便り
R.財団寄付一覧表
ポリオ・プラス寄付一覧表
ロータリー財団協力者芳名
法定休日について
地区情報セミナープログラム
情報資料室ニュース
11月の出席報告
主要行事日程・ご案内

第8号（1988.1.15）

ケラーR.I.会長からの賀状
宋先生からの年始状
新年ご挨拶
ガバナー公式訪問日記
分区代理通信
地区委員会便り
1989～90年度地区ガバナー・ノミニ決定
R.財団、米山奨学会寄付者芳名
地区情報資料室ニュース
12月の出席報告
主要行事日程・ご案内

第9号（1988.2.15）

ロータリー創立記念日に想う
ガバナー公式訪問日記
分区代理通信
地区委員会便り
R.財団寄付金一覧表
ポリオ・プラス寄付金一覧表
R.財団、米山奨学会寄付者芳名
地区資料室ニュース
1988年1月出席報告
主要行事日程及びご案内

第 10 号 (1988. 3. 15)

ガバナーのことば
故佐久間パストガバナーを偲ぶ
ポリオ・プラス募金のあり方について
地区委員会報告
R財団寄付者芳名
地区情報資料室ニュース
2 月の出席報告
主要行事日程およびご案内

第 11 号 (1988. 4. 15)

ロータリーの友
ロータリーと私
始動した室蘭ルネッサンス運動
ケラー R. I. 会長を迎えて
クラブ会長エレクト研修セミナー報告
地区委員会便り
ロータリー財団寄付額
ロータリー財団と米山奨学会へ協力者芳名
1988~89 年度地区分区代理・クラブ会長・幹事ご紹介
地区大会収支報告
地区資料室ニュース
3 月の出席報告
主要行事日程・案内等

第 12 号 (1988. 5. 15)

五月に想う
ポリオ・プラス募金活動にロータリー奉仕の本姿を見つけた
り
I.G.F. 報告
地区協議会報告
地区委員会便り
ロータリー財団への協力者芳名
ポリオ・プラス寄附一覧表
地区資料室ニュース
4 月の出席報告
主要行事日程・案内等

第 13 号 (1988. 6. 15)

ゴールを目前にして
ケラー会長からの礼状
R. I. 第 715 地区ガバナー News Letter より
I. G. F. 開催報告
R 財団、米山奨学会寄付者芳名
情報資料室ニュース
5 月の会員出席報告
主要行事日程およびご案内

第 14 号 (1988. 6. 30)

1987~88 年度を顧みて
妄語無言
地区委員会報告
青少年指導者育成研修セミナー開催
I. G. F. 開催報告
分区代理退任挨拶
R 財団寄付者芳名
R 財団寄付一覧表
ポリオ・プラス報告
情報資料室ニュース
6 月会員出席報告
報告その他

(8)地区刊行物について

1987～88年度に地区として刊行した主な印刷物は以下の通りである。

- 地区名簿
- ガバナー月信No.1～No.14
- 情報資料室スライド・フィルム・参考図書貸し出しリスト
- 地区協議会記録
- 地区年次大会記録
- 地区情報セミナー資料
- 情報資料室ニュース特集
- 青少年指導者育成研修セミナー資料
- 派遣交換学生帰朝報告
- FELLOW No.5 (1988年9月刊行)
- ローターアクト年次大会報告書(1988年9月刊行)
- ローターアクト東京・沖縄研修旅行感想記(1988年9月刊行予定)
- 地区要覧

(9)そ の 他

■ロータリー・アイデア・バンク

R I 理事会は、最も優れ実用的な「プログラム、活動、進路のためのアイデア」を募集することとし、地区より各クラブによびかけた結果、7クラブより14件の提案があった。地区ではアイデア・バンク特別委員会を設けて慎重に審査し、内6件を採用し、アジア第1・第3ゾーン研究会招集者、千宗室R I 理事ノミニエに提出した。

■地区より各クラブへ依頼したロータリー以外の寄付

- リハビリテーション世界会議
1986-87三浦DGと1987-88坂本DGの連名で1人200円程度の寄付を三浦年度に依頼す。26クラブより427,800円の寄付を受け、地区会計より先方へ送金した。
- はまなす国体
坂本DGと大橋GNの連名で、各年度1人500円程度の寄付を依頼す。坂本年度終了時26クラブより1,139,600円の寄付を受け、利息480円を加え、1,140,080円を地区会計より先方へ送金した。

■第1回日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会(JGFR)

開催日 1987年11月11日(水)

開催場所 霞ヶ関カンツリークラブ(埼玉県)

参加者数 約140名

当地区参加者 吉田輝雄(岩内RC)64位

■第7回全国ロータリークラブ野球大会

開催日 1988年5月21日(土)～22日(日)

〃 6月25日(土)～26日(日)

〃 9月15日(木)

開催場所 甲子園球場並びに厚生年金球場

参加クラブ数 22地区、35クラブ

当地区参加クラブ 滝川RC(予選出場札幌手稲RC、伊達RC)

9月15日の準決勝・決勝大会に進出し、見事に第4位となった。
(ロータリーの友12月号39頁参照のこと。)

(10)ガバナー事務所

1986年11月1日、ガバナー・ノミニー事務所として開設。1987年7月1日よりガバナー事務所となり、1988年6月30日をもって次期ガバナー事務所に引き継ぎ、残務整理の後、8月31日事務所を閉鎖した。

執務時間 月～金 10:00～17:00

事務所所在地

〒060 札幌市北区北7条西4丁目 宮澤ビル4F

☎ 011-756-7777 FAX 011-726-4058

ガバナー	坂本 忠
地区幹事	越山 文哉
地区副幹事	浅野 国夫
〃	半澤 道郎
〃	松村 亮一
〃	横井 久
〃	木村 文数
地区資金委員長	林 饒
地区会計	井後 幸太郎
事務局員	鎌田 かをり

